

『大日本紡績聯合会月報』収録 中国関係記事目録（1889～1943年）

金丸 裕 一

は し が き

中国経済史研究者にとって、各種データや事実関係の追究は極めて厄介な作業である。第一に、外国人が主体となって行なわれた海関報告を除いて、よるべき中長期経済統計が存在していない¹⁾。特に国民政府が一応の全国統一を遂げた1928年以前に関しては、信頼できる中国側史料は皆無に等しいであろう²⁾。また海関統計も、輸出入の動向を中心に整理されている。よって第二に、ある産業部門や個別資本の生産状況等を了解するに足りる史料は、入手すること自体が困難であった。1980年代になって、中国大陸で発行された各種「企業史料」が閲覧可能となり、この状況はかなり改善されたが、収録されるデータの不備や史料選択の恣意性なども指摘され³⁾、依然多くの問題は解明されていない。

上記の状況を克服する一つの方法は、邦文文献を近代中国史研究に用いる試みであると思う。既に大正初年に至る領事報告資料や戦前期の外務省記録の総目録が刊行され、「官」側史料へのアクセスは、たいへん便利になった⁴⁾。例えば前者を素材にして、角山栄氏を中心とするチームが多くの成果を生み出し、「通商国家」たらんとした明治期日本が、中国情報収集に多くの力を注いだ事実が知られるに至った⁵⁾。無論、当時におけるこうしたデータ活用の目的は、常に念頭に置かねばならない。中国は確かに日本の「通商」相手であったが、19世紀末には交戦国となる。そして昭和期に至ると、更に植民地経営や占領地支配の対象へと移

行した。但し、この過程において、より迅速かつ正確な中国情報の入手が、国家的要請にまで高まって行ったのも事実である。

ところで近代の日本では、「民」側主導による中国情報へのアプローチも非常に活発に進められた。漢口楽善堂や上海日清貿易研究所は、その嚆矢であった⁶⁾。1898年には東亜同文会が設立され、機関誌『支那』は専門時論誌に成長した。現在、この目録も完備している⁷⁾。最近では、内外の商業会議所による各種調査の内容や所在について、貴重な成果が発表されている⁸⁾。また、バラエティーに富んだ各種経済雑誌においても、中国に関するニュースは常時一定の紙幅を占めていた⁹⁾。そしてこれらの整理や紹介は、日本語を母国語とする研究者だけが担当可能な作業といえよう。同時代に関する中国側史料の絶対的な欠如に鑑みると、寧ろ「義務」と表現する方が適切かもしれない¹⁰⁾。

* *

今回まとめたものは、約半世紀に亘って発行され続けた綿紡績同業団体の月刊機関誌に掲載された中国関係（香港・台湾も含めた）の記事である。主に「外報」「雑報」「内外棉業彙報」「海外綿業情報」など、時期によって呼び方が変わるコーナーに収録されたものを中心とする。ここで、この団体と雑誌について簡単な紹介をしたい。

紡績業界では、1882年に官営愛知紡績所長の呼び掛けで、紡績聯合会が結成された。これが88年に、一万鍾工場を中心に大日本綿糸紡績同業聯合会と改称されてからは、次第にカルテル化して行く。即ち、①1890年の過剰生産恐慌に対処すべく、日本で初めての操短を実施した。その後範囲は全綿糸に及び、期間も長期化し、監督も厳しくなった。また、②労働者の引抜きや深夜業禁止を回避する活動や、③日本郵船と会員によるインド棉積取契約（1893年）、陳情活動を通じた棉花輸入税撤廃の成功（1896年）、更に植民地での棉花栽培促進等の原棉対策、及び④綿糸輸出税撤廃（1894年）や、日清戦争後の横浜正金銀行による輸出金融強化等の輸出対策を、積極的に推進した。

1902年には、大日本紡績聯合会と名称を改め、その後実質的には巨大資本の利益を代表するに至る。その結束力は、他業種に比べて強力であり、様々な活動により、アウトサイダーの存在が困難な状況になったという。紡績資本は、戦時中の1942年8月4日、閣令によって強制カルテ

ルたる綿・スフ統制会の下に再編成される事となった。同会は42年10月に一旦解散した後、在華紡や絹糸業も含む親睦組織の東亜繊維工業会に改組された¹¹⁾。以上の過程の中、業界紙の名称は次の変遷を遂げている。本稿の表題では、煩雑を避けるために、最も長期間使用されたEの誌名を採用した。

雑誌名の変遷

- A：『聯合紡績月報』 1～26（1889年5月～1891年6月）
- B：『紡績月報』 1～14（1891年7月～1892年8月）
- C：『大日本綿糸紡績同業聯合会報告』 無号～111（1892年9月～1901年12月）
- D：『大日本綿糸紡績同業聯合会月報』 112～122（1902年1月～1902年11月）
- E：『大日本紡績聯合会月報』 123～600（1902年12月～1942年10月）
- F：『東亜繊維工業』 1～2（1942年12月～1943年1月）

尚、Aの1号～Eの268号（1914年12月）以前の記事に関しては、『自明治廿二年至大正三年度大日本紡績聯合会月報目録』（大日本紡績聯合会、1915年）があり、本目録でも参照したが、記事名の省略なども多く見られ、利用には注意を必要とする。

* *

当該期間を通じて、日本紡績資本にとっての中国は、原棉市場であるとともに製品市場でもあり、時代を下ると資本輸出や軍管理の主要な対象となる。所謂「在華紡」勢力の形成に伴ない、1925年には在支日本紡績同業会（まもなく在華日本紡績同業会と改称）が成立するが、加盟工場は本社の子会社乃至は「スピン・オフ」にあたり、何れにせよ「中国情報」の入手は、カルテル加盟各社の経営意志決定を左右する重要な課題であった。従って雑誌に掲載された各種消息は、業界の共有財産としての使命を帯びていた。

翻って中国の状況をみよう。1910年代後半になると、漸く綿紡績業や製粉業などの軽工業部門において近代セクターが成長し、特に前者は、まもなく在華日本・イギリス資本との競争を経験した。1919年には、沿海地域とりわけ上海を中心とした民族系資本の同業団体として華商紗廠聯合会が結成され、機関誌『華商紗廠聯合会季刊』（のちに半年刊、京

都大学人文科学研究所東方部に全冊所蔵）の創刊を迎えるが、日本に遅れること約30年であった。両国の情報収集力を比較すると、官民ともに相当の格差があったと認められる。かかる原因により、概ね1920年代以前の中国綿業、更には経済一般に関連する史実が、本目録で紹介する記事群の中から確定されることも、少なくないだろう。

* *

これらの雑誌は、比較的多くの図書館に所蔵されている。直接確認した幾つかの機関と所蔵状況を次に示す。A～Fは前出の雑誌名に対応し、左側には所蔵号数を、右側の括弧内には欠落部分を記しておいた。

I. 国立国会図書館……請求番号 [雑49-304], 但しFのみは [雑49-304イ]

A : (全号欠落) / B : (全号欠落) / C : 106~111 (無号~105) / D : 113~122 (112) / E : 123~600 / F : 1~2

II. 早稲田大学総合図書館……請求番号 [サネ64]

A : (全号欠落) / B : (全号欠落) / C : 66~101 (無号~65・67・102~111) / D : (全号欠落) / E : 123~600 / F : 1~2

III. 早稲田大学総合図書館内原田繊維文庫……請求番号 [文庫4 1555]

A : (全号欠落) / B : (全号欠落) / C : (全号欠落) / D : (全号欠落) / E : 185~600 (123~184・189・404) / F : 1~2

IV. 慶応義塾図書館・新館 (三田) ……地下4F書庫に所蔵

A : (全号欠落) / B : (全号欠落) / C : (全号欠落) / D : (全号欠落) / E : 186~596 (123~185・425~436・470~519・531~548・585~590) / F : (全号欠落)

V. 東京大学経済学部図書館……請求番号 [65B22/N.1:1]

A : 1~26 / B : (全号欠落) / C : 68~110 (欠あり) / D : 112~121 (欠あり) / E : 123~600 (137~152, 他にも欠あり) / F : (全号欠落)

初期段階のA～Dに就いて、現物を確認する作業はなかなか困難である。しかし、大阪の日本紡績協会は、ほぼ全号を所有している。また、雄松堂書店が発行する「綿業経済資料」というマイクロフィルムには、A～Fの大半が収録されており、東洋文庫でも閲覧することができる（請求番号 [Micro 736]）。

* *

目録に収めた記事以外にも、一定期間に互って連載されたものがある。最後にこれらを簡単に紹介しておきたい。地域的には、上海・香港・漢口など要地の状況が主である。特に上海は、インドのボンベイと同様、タイムリーな情報が頻繁に提供されているので、棉花・綿糸価格等の長期的トレンドを把握するに有効であると思われる。雑誌名はやはりアルファベットで略記した。

先ず上海から。棉花では、Aの2号（1889年9月）で「清国上海棉花商況」という記事が見られ、同地における相場への関心がかかなり早い時期から持たれていた事が窺える。Aの16号（1890年8月）からは、「上海棉花商況」の連載が始まり、Cの4号（1892年12月）まで同名で掲載された。Cの5号（1893年1月）から15号（1893年12月）にかけて、「上海棉物商況」が掲載されている。暫くの中断を挟み、Cの57号（1897年6月）から、再び「上海棉花商況」の連載が始まり、Cの64号（1898年1月）以降は「上海棉花市況」とタイトルを変更し、Cの70号（1898年7月）まで掲載が続いた。

綿糸については、Aの19号（1890年11月）と20号（同年12月）に「上海棉糸商況」が載っている。ついで、Aの21号（1891年1月）からCの23号（1894年10月）まで、「上海通信」が掲載された。また、Cの9号（1893年5月）から33号（1895年6月）、及びCの57号（1897年6月）以降70号（1898年7月）まで、「上海棉糸商況」が連載されている。

Cの104号（1901年5月）からDを経てEの137号（1904年1月）迄は、「上海棉糸棉花商況」が掲載された。その後、棉花については「上海棉花市況」が、綿糸については「上海綿糸市況」が、綿布については「上海綿布市況」が、Eの539号（1937年9月）まで連載された。更に、Dの122号（1902年11月）からEの544号（1938年2月）にかけて、「上海為替及倫敦銀塊相場」が長期間連載された。何れも若干の例外はあるが、略々毎号にわたって掲載されている。

次に香港についてみよう。Aの22号（1891年2月）からCの26号（1894年12月）の「香港通信」の他、同じくAの22号以降Cの4号（1892年12月）まで、「香港棉物商況」が散見される。次いでCの5号（1893年1月）から15号（同年12月）に「香港棉花商況」が、Cの27号（1895年1月）から39号（同年12月）に「香港棉物相場及商況」が掲載されている。Eに至

ると、137号（1904年1月）から148号（同年12月）まで「香港棉糸棉花商況」が、149号（1905年1月）から160号（同年12月）まで「香港市況」が掲載された。その後、233号（1912年1月）から290号（1916年10月）にかけて「香港綿糸市況」が連載されている。

漢口では、Eの291号（1916年11月）から405号（1926年5月）にかけて、「漢口棉花市況」「漢口綿糸市況」「漢口綿布市況」が連載されている。

この他、全期間を通じた「支那棉水気検査成績」報告や、日中戦争時期の「支那各地商況」（Eの560～581号、1939年6月～41年3月）も見られる。これらを含めた統計データの詳細な検討は、今後の課題としたい。

* * *

思い返せば、本稿で紹介した記事のコピーを始めたのは、学部を卒業した1984年の夏であった。この作業の開始段階で、まだ本庄分館に別置されていた雑誌の長期閲覧に際して、早稲田大学文学部教授の細野浩二先生と、元早稲田大学文学部編纂所の河野昭昌先生には、たいへんお世話になった。また畏友・佐伯直氏（都立五日市高校教諭）は、略々一夏のあいだ複写に協力して下さった。校正段階に至り、千葉正史氏（東京都立大学大学院）には、煩わしい仕事を手伝って頂いた。ここに記して感謝を申し上げたい。

時間をかけ過ぎた仕事であったため、遺漏や誤記も多いのではないかと危惧している。この点について、特に大方のご批判とご助言をお願いする次第である。

注

- 1) Hsiao Liang-lin, *China's foreign trade statistics, 1864-1949*, Harvard Univ. Press, 1974. は、これを整理した代表的な成果である。
- 2) 近代中国の統計事業に関しては、さしあたり次の文献を参照されたい。劉大鈞「中国之統計事業」（『統計論叢』、黎明書局、1934年）、及び朱君毅『民国時期的政府統計工作』（中国統計出版社、1988年）。但し管見の範囲でも、国府期の同一年度を実施された調査において、中央政府と省政府発表の数値がかなり異なる場合も多い。
- 3) 久保亨「中国資本紡の利益率に関する史料の補正と考察——『中国近代経済史統計資料選輯』168頁所収第4章第45表をめぐって」（『近代中国研究彙報』第12号、1990年）や、同「企業史資料集をどう読むべきか——『啓

新洋灰公司史料』編集用史料カードの検討」（『中国近代史研究会通信』第18号、1985年）、さらに拙稿「關於《榮家企業史料》上冊の幾個問題——以中新紗廠為例」（『中国近代経済史研究資料』(3)、上海社会科学院出版社、1985年）などを参照されたい。

- 4) 角山榮・高嶋雅明監修『領事報告資料収録目録』（雄松堂、1983年）、及び外務省外交史料館編『外交史料館所蔵外務省記録総目録』全3冊（原書房、1992～93年）。これらの目録が発行される以前に、中国関係記事をピック・アップした先駆的業績として、中川靖子『「通商彙纂」中国関係記事目録』（1）～（5）（『辛亥革命研究』5～9号、1985～90年）と、曾田三郎『外務省外交史料館所蔵諮議局・省議会議史資料目録』（広島大学文学部東洋史研究室、1988年）がある。
- 5) 角山榮編著『日本領事報告の研究』（同文館、1986年）に収められた論文は、代表的な成果である。また角山榮『「通商国家」日本の情報戦略——領事報告をよむ』（日本放送出版協会、1988年）は、簡明な概説である。本目録によっても「領事報告」は極めて重要なニュース・ソースであった点が知られる。
- 6) 二つの機関では、緊密な「官民協力」が行なわれていた。くわしくは、黄福慶「甲午戦前日本在華的諜報機構——論漢口樂善堂与上海日清貿易研究所」（『中央研究院近代史研究所集刊』第13期、1984年）を参照されたい。
- 7) 『東亜同文会機関誌主要刊行物総目次』（霞山会、1985年）。また、小島麗逸編『戦前の中国時論誌研究』（アジア経済研究所、1978年）は、『黒竜』『東方時論』『亞細亞時論』などの記事目録を紹介している。
- 8) 飯島渉・塚瀬進編「戦前期在外日本人商業会議所（中国）定期刊行物目録（稿）」（『近代中国研究彙報』第14号、1992年）、及び飯島渉・伊藤泉美・鎌田和宏・塚瀬進編『「東京商業会議所月報」等中国関係記事目録』（辛亥革命研究会編『中国近代史研究入門』、汲古書院、1992年）等が、公開された主要な成果である。
- 9) 杉原四郎『日本の経済雑誌』（日本経済評論社、1987年）を参照。更に、杉原四郎編『日本経済雑誌の源流』（有斐閣、1990年）では、各雑誌の内容が詳細に分析されており、中国研究への援用の可能性を窺わせる。両書ともに索引が完備しており、頗る便利である。
- 10) 勿論、各種史料閲覧に至る手続きの煩雑など、中華人民共和国における研究システムにも問題は多い。しかしながら、近代中国における書籍が辿った不幸な運命に対して、日本人は明らかに関与していた（松本剛『略奪した文化——戦争と図書』、岩波書店、1993年）。また、こんなに容易に閲覧する事が可能な中央研究院近代史研究所檔案館に保管される公文

書の多くも、戦火の中をくぐり抜けて現在に至ったものである（拙稿共著「台湾・中央研究院近代史研究所檔案館——簡史・概況と閲覧指南」、『近きに在りて』第21号、1992年）。従ってこうした作業は、敗戦から略々50年経過した時代を生きるわれわれの、ささやかな「戦争責任」への表明にも相当するだろう。

- 11) 以上の記述は、①高村直助「紡績聯合会」（『国史大辞典』第8巻、吉川弘文館、1991年）、②籠谷直人「大日本紡績連合会」（橋本寿郎・武田晴人編著『両大戦間期日本のカルテル』、御茶の水書房、1985年）、③長島治「戦時経済研究と企業統制」（下谷政弘・長島修編著『戦時日本経済の研究』、晃洋書房、1992年）などによった。（1993年10月10日 稿）

【聯合紡績月報】

第5号（1889年9月）

上海暴風雨

第1号（1889年5月）

清国天津市場棉花ノ景況

第7号（1889年11月）

明治廿二年一月以降支那棉輸入高（神戸港ノ部）

支那棉の景況

明治廿一年度（自八月至十二月）支那棉輸入総高

支那棉花騰貴の原因及産地の模様

第8号（1889年12月）

上海機器紡績新局に於て清曆本年十月六日江南海関監督道龔氏より得たる通牒文

第2号（1889年6月）

明治廿二年一月より六月に至る支那棉輸入概算表

紡績場を設くべからず

明治廿年一月より五月に至上海より日本各港に向け輸出したる棉の数量

支那公使紡績所を実見す

第9号（1890年1月）

清国上海の織布局

第3号（1889年7月）

海外綿業視察員通信第一報（上海）

支那棉試作成績報告

第4号（1889年8月）

海外綿業視察員通信第二報（香港）

第10号（1890年2月）

支那棉試作成績

明治十年以後十年間神戸港上海輸入棉花価格高低表

第11号（1890年3月）

織布新局【上海】

本年一月より五月に至る上海五ヶ月間に本邦へ向け輸出したる上海棉花の数量を前二季全間に対比

香港棉糸棉花相場表

第12号（1890年4月）
張之洞金巾製造所を起さんとす

第13号（1890年5月）
支那市場ニ於ケル孟買糸商況

第15号（1890年7月）
上海棉の輸出及景況

第16号（1890年8月）
清国広東省に於ける綿及綿織糸の課税
支那産棉花買入方に就て

第17号（1890年9月）
明治廿三年一月乃至六月上海生棉輸出統計表
支那の棉作

第18号（1890年10月）
香港に於ける日本棉縮の流行
支那棉の騰貴紡績者の困難
上海織布局の拡張
上海器械紡績局の新糸見本

第19号（1890年11月）
上海工匠及雇人給料
上海市場織物丈幅員
上海に於ける銀行
日本紡績糸の見本將に上海市場に現われんとす

第20号（1890年12月）
支那向竺糸の見本到着す
支那向木棉織物の色模様

第21号（1891年1月）
上海棉糸の商況に関する通信
香港綿織糸及棉花取引規約

第22号（1891年2月）
支那市場に於ける棉糸近況

第23号（1891年3月）
両国へ十年間竺糸の輸出高

第24号（1891年4月）
日本、支那両市場に向け英竺棉糸輸入の比較

第25号（1891年5月）
支那の紡績業に就て
香港棉糸取引に関する事項

【紡織月報】

第1号（1891年7月）
清国へ棉糸見本輸送の件
福州駐在帝国領事照会
漢口駐在帝国副領事の報告
厦門駐在英國領事の報告
九江駐在英國領事の報告

第2号（1891年8月）
上海香港紡績糸荷嵩の原因及其前途
台湾の棉織物の需要に就き
去六年間英竺糸の輸入増減

第5号（1891年11月）
綿糸輸出関税蠲免請願の理由
香港に於ける印度棉花の商況（帝国副領事報告）

香港に於ける孟買綿糸需要の近況
 第6号（1891年12月）
 香港綿糸商況

第7号（1892年1月）
 香港に於ける印度棉花の商況

第9号（1892年3月）
 清国紡績業の事情

第11号（1892年5月）
 廿四年中上海に於ける孟買綿糸統計

第13号（1892年7月）
 清国漢口紡績所に就て

『大日本綿糸紡績同業聯合会報告』

無号（1892年9月）
 清国輸入の棉織物兩年比較
 清国内地棉産地から実況
 上海地方の棉作

第2号（1892年10月）
 香港棉花商況 [領事報告]

第3号（1892年11月）
 香港綿糸商況 [領事報告]

第4号（1892年12月）
 於上海木綿染形付織物景況 [領事報告]
 織布局棉花買収告示 [領事報告]

第5号（1893年1月）
 昨年中清国棉花商況

昨年十月中上海綿物商況 [領事報告]
 香港綿糸商況 [領事報告]
 漢口ニ紡績会社起ル

第6号（1893年2月）
 上海綿物商況 [領事報告]
 昨廿五年中香港綿糸商況 [領事報告]
 清国綿業一斑

第7号（1893年3月）
 芝罘棉物景況 [領事報告]
 漢口の紡績会社
 昨年中上海に於ける輸入綿物其他北方
 諸港へ再輸出に係る数量を昨二年に
 対比
 昨年中孟買綿糸の日本及支那へ輸出せ
 し数量を前十五ヶ年に対比

第8号（1893年4月）
 天津綿物貿易景況 [領事報告]
 漢口紡績所愈よ開業す
 清国四川棉花需要の減少

第13号（1893年10月）
 孟買糸支那及日本に輸出累計

第14号（1893年10月）
 上海市場の日本綿糸
 清国上海綿糸集散統計

第15号（1893年12月）
 銀貨下落と支那貿易との関係 [領事報
 告]
 福州綿布業の盛況
 清国駐在英國領事の報告

第18号（1894年4月）
 最近十年間香港綿糸及棉花輸出入統計

第20号（1894年7月）
 香港紡績事業に関する中川領事報告

第22号（1894年9月）
 綿糸香港輸出策

第23号（1894年10月）
 清国紡績事業保護課税の風説
 清国綿糸釐金税の増加

第25号（1894年12月）
 征清全勝後に於ける方針に関する件

第30号（1895年4月）
 二十七年香港綿糸及棉花商況

第31号（1895年4月）
 二十七年香港綿糸及棉花商況（続）

第32号（1895年5月）
 頌徳表

第37号（1895年10月）
 上海近傍棉作予見

第39号（1895年12月）
 上海新紡績会社設立計画

第40号（1896年1月）
 上海地方紡績事業視察報告書
 上海棉花商況
 上海内外綿糸綿布製造会社現況

第41号（1896年2月）
 支那に於ける孟買綿糸

第42号（1896年3月）
 清国水気棉花の排除
 支那綿糸紡績及棉花栽培の現況

第45号（1896年6月）
 香港綿織糸及繰綿商況

第47号（1896年8月）
 支那地方に於ける孟買紡績糸
 広東に於ける孟買紡績糸

第48号（1896年9月）
 支那に於ける孟買紡績糸況

第50号（1896年11月）
 浙江省棉花釐金並輸出景況
 沙市棉花狀況

第51号（1896年12月）
 支那棉花之輸入高
 廿九年上半年中清国宜昌輸入綿物概況
 上海に於ける綿糸の輸出入高

第53号（1897年2月）
 天津紡績会社設立計画

第55号（1897年4月）
 香港綿糸及繰綿商況
 香港に於ける綿糸相場表

第56号（1897年5月）
 香港綿糸及繰綿商況 [領事報告]

第57号（1897年6月） 清国需要木綿	入比較表 清国に於て製造する綿糸課税に関する 件報告〔領事報告〕 上海綿糸課税に関する報告〔領事報告〕
第61号（1897年10月） 本年自一月至八月ハヶ月間本邦及印度 糸之上海輸出入高 英国綿糸之日本支那への輸入高 英国綿布類之日本支那への輸入高	第67号（1898年4月） 清国紡績会社一覽 清国棉花綿布及綿糸輸入景況
第62号（1897年11月） 三十年自一月至九月九ヶ月間本邦及印 度糸之上海に於ける出入高 上海棉花取引事情	第68号（1898年5月） 清国棉花綿布及綿糸輸入景況（続）
第63号（1897年12月） 上海紡績所運轉錘数 上海棉花取引事情（続）	第71号（1898年8月） 三十一年上半季間孟買より日本及支那 に輸出せる綿糸の数量
第64号（1898年1月） 三十年自一月至十一月十一ヶ月間上海 に於ける本邦及印度糸の輸出入高 既往五ヶ年間に於ける清国輸入各国糸 の港別表 清国に於ける本邦紡績業販路の關係年 記	第72号（1898年9月） 農商務省より清国派遣員に対する取調 希望要項 支那内地紡績業綿糸棉花并に綿織物に 関する取締希望要項
第65号（1898年2月） 三十年自一月至十二月十二ヶ月上海に 於る本邦及印度糸の輸出入高	第74号（1898年11月） 明治三十年中日本支那に於ける孟買綿 糸輸入高
第66号（1898年3月） 清国内通過税免除に関する請願 前件に関する外務省よりの回答 昨三十年中孟買より日本及支那に輸出 せる綿糸の数量 上海に於ける在荷高及日本印度糸輸出	第78号（1899年3月） 孟買綿糸の日本支那へ輸出高 第80号（1899年5月） 天津輸入綿糸商況 第81号（1899年6月） 芝罘報告 重慶紡績糸商況〔領事報告〕

第82号（1899年7月） 上海綿糸景況〔領事報告〕 沙市輸入紡績糸景況〔領事報告〕	第95号（1900年8月） 清国三十二年度貿易事情〔領事報告〕 孟支間貿易
第84号（1899年9月） 鐘淵紡績株式会社之合併 本年上半季間孟買綿糸之日本支那へ輸 入高	第96号（1900年9月） 清国三十二年度貿易事情（承前）〔領 事報告〕 七月中上海綿糸綿花及織物類商況〔領 事報告〕 漢口三十二年貿易年報 厦門貿易季報抄録
第85号（1899年11月） 北清航路之拡張	第97号（1900年10月） 沙市綿布〔領事報告〕
第87号（1899年12月） 上海輸入本邦製綿布類状況	第98号（1900年11月） 上海綿糸及綿花商況 沙市綿布（承前）〔領事報告〕
第90号（1900年3月） 清国福建省に於ける棉作地調査報告 〔井上甚太郎〕 上海税関に於ける日本綿糸に係る課税 問題 孟買綿糸之日本支那に於ける輸出高	第101号（1901年2月） 清国へ輸出綿糸三十二・三十三年比 較表 清国輸入綿織糸港別（三十二年） 清国芝罘外三港輸入日本印度綿糸
第92号（1900年5月） 福州綿布〔領事報告〕	第102号（1901年3月） 上海に於ける紡績会社の成績〔領事報 告〕
第93号（1900年6月） 清国各紡績所景況 上海綿糸紡績所の困難	第103号（1901年4月） 上海に於ける紡績会社の成績（続） 〔領事報告〕
第94号（1900年8月） 福建省棉花試作状況 上海貿易期報 蘇州三十二年貿易年報〔領事報告〕 天津初期商況	第104号（1901年5月） 上海綿糸市況〔領事報告〕 上海天津間綿糸運賃

第105号（1901年6月） 清国福建省に於ける棉作業	第111号（1901年12月） 清国紡績事業の近状 [日置藤夫] 清国条約改正委員 清国に於ける棉糸布の新関税率 上海協隆紡績所の競買 対清為替の騰貴
第106号（1901年7月） 上海紡績と清国棉水気排除 揚子江沿岸の洪水 対清為替の騰貴	
第107号（1901年8月） 清国関税率協定に対する建議 日清銀行設立に対する建議 清国市場の日本綿布	『大日本綿糸紡績同業聯合会月報』
第108号（1901年9月） 清国産水気棉排除規則第拾条改正 清国償金の財源と新関税 日清銀行法案の起草 日清及日印棉糸の競争	第112号（1902年1月） 新協隆紡績会社の設立
第109号（1901年10月） 上海棉糸棉花商況 [領事報告] 上海紡績の成績 日清通商条約の改締と棉糸棉布の税率	第113号（1902年2月） 清国関税調査の結了
第110号（1901年11月） 清国通商条約改締に対する請願書呈出の件 上海棉糸棉花商況 [領事報告] 香港棉糸界の趨勢 [龍田森吉] 清国新関税施行上の解釈 上海に於ける棉花検査の概況 江蘇省棉花收穫情況 北清事変と対清棉糸棉花貿易 横浜港対清棉花貿易情況	第114号（1902年3月） 上海棉糸貿易調査報告 [福原生] 清国輸入綿織物狀況 天津に於ける日本棉糸
	第115号（1902年4月） 事変と紡績事業（三） 牛莊に於ける棉糸布輸入税率
	第116号（1902年5月） 対清条約談判の開始期 紡織職工の渡清
	第117号（1902年6月） 清国商況雑信 漢口紡績の租借条件
	第118号（1902年7月） 清国に行はる、商標の調査 上海紡績会社狀況 三十四年中清国綿織物及綿糸貿易

第119号（1902年8月） 英清協定に係る清国関税率の義に付建 議書 清国内地の紡績業 上海市場に於ける日印棉糸集散高 満洲に於ける米国棉布の商況	第126号（1903年3月） 上海輸入綿糸商況 [領事館報告]
第120号（1902年9月） 清国紡績業現状 重慶市場の棉布類 改訂棉糸布清国輸入税率	第127号（1903年3月） 清国幣制改革案 日印棉糸上海輸入高并に在荷高 最近四ヶ年棉糸棉布上海輸入高
第121号（1902年10月） 三十四年度上海棉物貿易概況	第128号（1903年4月） 上海紗業商会
第122号（1902年11月） 満洲輸入日印棉糸及棉布 日印棉糸上海輸入高并に全在荷高 銀塊市場将来の見込	第130号（1903年6月） 上海視察談 附棉作奨励の必要 [谷口 房蔵] 清国償金銀払に関する請願書
『大日本紡績聯合会月報』	第131号（1903年7月） 四川省に於る日本綿糸 日印棉糸上海輸入高及在荷高
第123号（1902年12月） 朝鮮及北清州四年貿易年報抄録 日印棉糸上海輸入高并に全在荷高	第132号（1903年8月） 本邦棉糸清国販路視察談 [芦田芳蔵] 清国武昌紡紗・織布両局の狀況 上海行綿糸運賃の低落
第124号（1903年1月） 棉糸清国輸入高累年統計表 日印棉糸上海輸入高并に在荷高	第133号（1903年9月） 満洲における露国棉布
第125号（1903年2月） 清国事業一斑 清国と金貨本位問題 天津初航と積荷	第134号（1903年10月） 支那棉作近況 台湾の班芝棉
	第135号（1903年11月） 上海紡績の現況 湖北省産出棉布類 通州棉買入停止事情

第136号（1903年12月） 上海棉糸市況電報の件 満洲に於ける本邦棉布の販路	第144号（1904年8月） 清国に於ける石炭の将来 漢口に於ける日本棉布の現在と将来
第137号（1904年1月） 上海紡績の成績 通州棉買止事件の解決 漢口棉花情報	第145号（1904年9月） 清国に於ける商標の登録 清国の幣制改革 長江沿岸其他に於ける棉作予想と耕地の広袤 漢口ニ於ケル日本棉布(1) [領事報告] 台湾に於ける棉花栽培
第139号（1904年3月） 漢口棉花商況	第146号（1904年10月） 漢口に於ける日本棉布(2) [領事報告] 漢口附近の棉花作 [領事報告]
第140号（1904年4月） 時局の海外市場に於ける本邦棉糸布に及ぼしたる影響(1) 各国棉糸上海輸入高 清国に於ける商標登録 漢口附近に於ける棉花耕作の趨向 過去九ヶ年間上海港再輸出棉糸対照表	第147号（1904年11月） 漢口輸出棉花の激増 湖南省に於ける棉糸需要
第141号（1904年5月） 海外市場に於ける本邦棉糸布に及ぼす時局の影響(2) 清国輸入棉糸数量	第149号（1905年1月） 大阪漢口間航路新設 支那棉輸入の趨勢 日清合同事業の計画
第142号（1904年6月） 時局の海外市場に於ける本邦棉糸布に及ぼしたる影響(3) 清国に於ける禁制品取扱規則	第150号（1905年2月） 上海怡和紡織営業成績 日清協同和豊紡績
第143号（1904年7月） 時局の海外市場に於ける本邦棉糸布に及ぼしたる影響(4) 清国に於ける日独棉布競争 無錫紡績会社景況 漢口棉花情報	第151号（1905年3月） 上海鴻海紡績会社の営業成績 湖南棉花 日清合同紡績事業の経過 第152号（1905年4月） 昨年中清国棉製品輸入貿易

満洲将来の貿易（棉業に関する世論一斑）	第160号（1905年12月） 清国銀本位の制定 三十七年度清国棉糸棉布貿易 対清貿易の競争（棉業に関する世論一斑）
第153号（1905年5月） 清国に於ける紡績業 清国商標登録法 昨年中清国輸入棉布及棉糸 昨年十一月以後の漢口棉花商況 第八期清国棉水気検査決算	第161号（1906年1月） 漢口棉花商状 [領事報告] 棉布と満洲（棉業に関する世論一斑）
第154号（1905年6月） 武昌に於ける紡績・織布・生糸・製麻四工場 支那人の報復策と米棉製品	第165号（1906年5月） 上海各紡績会社営業成績 第166号（1906年6月） 上海紡績事業の近状
第155号（1905年7月） 漢口棉花輸出と外人の計画	第167号（1906年7月） 満洲棉布棉糸事情 満韓輸出棉布検査所
第156号（1905年8月） 標本室陳列品に関する漢口領事の照会 清国貨幣制度問題 清人の抗米運動	第168号（1906年8月） 満洲向棉布と軍票 満洲棉布及棉糸貿易
第157号（1905年9月） 上海税関に於ける威海衛及膠州湾行接続貨物取扱方 支那の人口と棉業の関係	第169号（1906年9月） 上海水気検査所の認定 上海棉作及棉糸市況
第158号（1905年10月） 南清の棉作	第170号（1906年10月） 上海支那棉水気検査所使用検印及検査成績証明書様式 三十八年度清国棉製品貿易
第159号（1905年11月） 上海輸入棉糸に記号番号を附記するの件 牛莊終航郵船の帰港	第171号（1906年11月） 満洲綿布及綿糸貿易事情(1) [山口農商務技師]

漢口棉花商状	牛莊の綿製品輸入額
第172号（1906年12月）	第182号（1907年10月）
満洲綿布及綿糸貿易事情(2) [山口農商務技師]	支那棉水気検査改正規則
第173号（1907年1月）	第183号（1907年11月）
満洲綿布及綿糸貿易事情(3) [山口農商務技師]	上海支那棉水気検査所監督員派遣
第174号（1907年2月）	第184号（1907年12月）
満洲綿布及綿糸貿易事情(4) [山口農商務技師]	清国の綿業
第175号（1907年3月）	第185号（1908年1月）
満洲綿布及綿糸貿易事情(5) [山口農商務技師]	清国西南部の印度棉製品貿易
第176号（1907年4月）	第186号（1908年3月）
満洲綿布及綿糸貿易事情(6) [山口農商務技師]	銀貨下落と北清貿易
印度紡績業及清国へ輸出情況 [領事報告]	第188号（1908年4月）
孟買上海間綿糸運賃騰貴	日印棉糸の対清輸出
第177号（1907年5月）	第190号（1908年6月）
満洲綿布及綿糸貿易事情(7) [山口農商務技師]	清国の棉糸消費力
上海の採業短縮説	第191号（1908年7月）
第178号（1907年6月）	天津輸入棉布糸数量
台湾の木棉	第192号（1908年8月）
第180号（1907年8月）	天津輸入綿糸布
上海棉花輸出商組合の設立	杭州紡績会社新設計画
膠州湾の綿製品輸入増加	第193号（1908年9月）
	天津輸入棉糸布
	第195号（1908年11月）
	米棉布の対清輸出減退
	四十年中天津棉糸布輸入額

第198号（1909年2月）	第208号（1909年12月）
清国棉輸出の概況	膠州貿易と綿製品
天津輸入綿糸布	上海怡和紡績の事業拡張
第199号（1909年3月）	第209号（1910年1月）
天津輸入綿糸布	清国の各国棉糸輸入額
米国対清輸出棉布好況	北清の棉産地及本邦棉繰機械 [領事報告]
ロバート・ハート氏の清国貿易観	第211号（1910年3月）
清国に於ける銅銭下落と貿易	汕頭に於ける綿織物 [領事報告]
第200号（1909年4月）	第212号（1910年4月）
上海認定棉花水気検査所の撤廃	上海の四十一年度綿糸布輸入 [領事報告]
独逸の対清棉布輸出策	第213号（1910年5月）
満洲に於ける日米織布	日本に於ける支那棉水気検査
第201号（1909年5月）	第216号（1910年8月）
汕頭と本邦浴巾類輸出	我観綿業 [庄司乙吉]
第202号（1909年6月）	第217号（1910年9月）
対清英米布貿易比較	我観綿業 [庄司乙吉]
杭州の新紡績所	北清に於ける紡績会社新設 [領事報告]
大連の綿製品輸入額	第219号（1910年11月）
第203号（1909年7月）	清国紡績業
内外棉会社の上海工場新設	清国に於ける輸入棉製品
第204号（1909年8月）	第220号（1910年12月）
英印綿糸布の対清輸出	南洋勸業会出品の清国産棉布に関する調査 [領事報告]
第205号（1909年9月）	第222号（1911年2月）
天津の綿布糸輸入状況 [領事報告]	北清と棉花 [領事報告]
汕頭の輸入綿糸 [領事報告]	
第207号（1909年11月）	
湖南に於る本邦棉糸	

- 第223号（1911年3月）
清国棉花栽培奨励法發布
- 第224号（1911年4月）
印度綿糸布と清国市場
清国浙江省の紡績業〔商務官報告〕
- 第225号（1911年5月）
北清棉花取引規約制定〔領事報告〕
直隸省紡績会社設立計画〔領事報告〕
上海の支那棉水気検査問題
- 第227号（1911年7月）
清国紡績工場の現況〔商務官報告〕
蘇鼎太倉彰徳及武昌紡績近況〔商務官報告〕
- 第228号（1911年8月）
北清棉花の輸出状況
清国綿布市場の競争
清国に於ける「タオル」需要状況及製造業(1)
- 第229号（1911年9月）
清国に於ける「タオル」需要状況及製造業(2)
上海棉花水気検査実施期
- 第230号（1911年10月）
楊子江地方水害と棉花〔領事報告〕
清国に於ける「タオル」需要状況及製造業(3)
- 第231号（1911年11月）
清国事変と上海市場〔商務官報告〕
- 第233号（1912年1月）
事変発生後上海に於ける金融及び商業状態
清国騒乱の米国綿業家に及ぼす影響〔商務官報告〕
- 第235号（1912年3月）
対支那紡績策〔桐庵〕
米国対清貿易と棉布
支那革命と孟買綿糸停滞
- 第236号（1912年4月）
日・印・支三国綿糸の勢力争奪地としての支那(1)〔渡辺良吉〕
- 第237号（1912年5月）
日・印・支三国綿糸の勢力争奪地としての支那(2)〔渡辺良吉〕
満洲に於ける各国輸入綿布
- 第238号（1912年6月）
日・印・支三国綿糸の勢力争奪地としての支那(3)〔渡辺良吉〕
支那棉花の産額
四十四年中上海輸入本邦綿糸及綿製品
奉天広業織布工場の設立〔領事報告〕
- 第239号（1912年7月）
上海に於ける金融及商工業状態
- 第240号（1912年8月）
支那に於ける商標保護出願者に対する注意
- 第241号（1912年9月）
福州に於ける綿製品〔領事報告〕

- 新民府に於ける綿糸布〔領事報告〕
- 第243号（1912年11月）
香港紡績営業成績〔領事報告〕
支那棉花状況
- 第244号（1912年12月）
南清綿糸及綿布近況
北清棉花産額及作柄並に輸出
- 第245号（1913年1月）
支那棉花産額
上海紡績設立計画〔領事報告〕
重慶に於ける綿糸綿布取引事情〔商務官報告〕
満洲に於ける綿製品
- 第246号（1913年2月）
清国山東省棉花産額
- 第247号（1913年3月）
孫逸仙氏請招会
支那紡績業〔小野兼基〕
支那綿糸布趨勢
漢口に於ける棉花及綿布
- 第248号（1913年4月）
沙市織布公司新設
- 第249号（1913年5月）
南京に於けるカタン糸需要状況〔領事報告〕
漢口輸入本邦綿製品と競争品〔領事報告〕
奉天地方に於ける綿糸及綿布状況
- 第250号（1913年6月）
英国に於ける東洋向綿製品
錦州に於ける綿布綿糸
鉄道に依る満洲輸出入貨物海関税三分の一軽減
- 第251号（1913年7月）
山西地方棉花産額
- 第252号（1913年8月）
本年上半期上海紡績業概況
済南府棉花検査規定に関する報告
事変と上海経済界〔領事報告〕
大阪に於ける支那動乱の影響
- 第253号（1913年9月）
香港貿易範囲の棉布
事変と上海経済界〔領事報告〕
三重紡績上海工場着手
- 第254号（1913年10月）
支那織物界の傾向
事変と上海経済界〔領事報告〕
上海水気棉検査所総会
支那市場保全論〔武藤山治〕
- 第255号（1913年11月）
支那関税引上問題と日本紡績業〔馬場義興〕
上海に於ける各国綿糸及綿製品
新民府に於ける綿糸布並棉花〔領事報告〕
- 第256号（1913年12月）
支那政府の関税改正に関する反対請願書

支那紡績会社の成績 天津地方棉花【領事報告】 内外棉社債決定	香港紡績会社上海に移転 上海水気棉花排除総会
第257号（1914年1月） 再び支那関税引上問題に就て【馬場義興】 漢口輸入綿布綿製品取引慣習及輸入諸掛 広東莫大小肌着類状況 奉天に於ける綿糸需要状況 内外綿社債売出	第262号（1914年6月） 操業短縮に関し漢口紗業公会よりの希望 江蘇省の織布事業 支那に於ける関税改正請願書
第258号（1914年2月） 支那関税改正反対理由梗領 輸出綿糸商同盟会の支那関税反対請願書 棉製品模様等に関する支那人の嗜好 牛荘に於ける綿布及綿製品 張総長実業政見宣言書	第263号（1914年7月） 支那関税問題に対する要望事項 支那紡績増鍾
第259号（1914年3月） 支那関税改修に関する陳情書 三たび支那関税改正に就て【馬場義興】 香港輸入綿製品の販路	第264号（1914年8月） 対支那輸出為替取組に関する請願書 武漢紡績業の勃興 山東紡紗工廠設立計画
第260号（1914年4月） 香港莫大小業状況 支那紡績聯合会	第265号（1914年9月） 上海綿糸紡績概況 支那棉製品貿易
第261号（1914年5月） 支那関税改修に関する請願書 支那各紡織廠の沿革概要 山東省棉花産出高 南昌に於ける織布業 広東に於ける莫大小業	第266号（1914年10月） 楊樹浦紡績株式募集 満洲綿糸布輸入状況
	第267号（1914年11月） 南京に於ける課税保護【領事報告】 南京紡織工廠状況【領事報告】 天津に於ける棉製品
	第268号（1914年12月） 重慶綿製品貿易
	第269号（1915年1月） 支那に於ける紡績業の現状

支那に於ける紡績会社一覧表	満蒙各地の輸入綿布
第270号（1915年2月） 支那関税改修に関する請願書 支那問題を論じて実業家諸君に望む【今井嘉幸】 楊子江沿岸に於ける本邦製薄手綿布の発展 西貢及広東に於ける更紗の需要状況	第276号（1915年8月） 支那紡績聯合会総会 上海の本邦綿糸布 大生公司製出綿糸移出課税 山東省の綿布類需要状況
第271号（1915年3月） 昨年中の上海綿製品貿易 上海の紡績営業成績	第277号（1915年9月） 日支銀行設立意見【喜多又藏】 上海附近棉作 天津輸入綿製品 満洲の日本綿糸布 遼陽綿糸布輸入取引 昨年度支那輸入綿製品
第272号（1915年4月） 直隸省高陽地方に於ける綿糸及綿布【石黒昌明】 天津地方に於ける織布機【領事報告】	第278号（1915年10月） 支那に於ける棉業試験場 支那紡績工場副産品課税に関する海関告示 昨年中の長江筋織物貿易 上海紡織公司営業成績 上海支部水気排除会総会 漢口地方棉花作柄
第273号（1915年5月） 青島の綿糸及綿布 錦州に於ける綿糸布の需要【領事報告】	第279号（1915年11月） 山東省棉花産額及輸出状況 沙市地方の土布【領事報告】 華新紡績会社組織に関する起導【公使報告】
第274号（1915年6月） 支那の日貨排斥運動に関する請願書 再び支那の日貨排斥運動に関する請願書 我紡績業者に徹す【匿名氏】 対支非売同盟論【商狂生】 南支那に於ける綿糸及綿布 支那浙江省棉花産額 支那の排貨と談論	第280号（1915年12月） 支那紡績業 錦州の綿糸布 綿縮襪衣地の需給
第275号（1915年7月） 日貨排斥と本邦紡織界【TI生】 支那の綿布貿易	

第281号（1916年1月）
直隸省内地産棉布釐免問題
長江紡績業
錦州に於ける織布工場
閩島シーチング需給状況
華新紡績公司の特権取消【特命全権公使報告】
支那問題と紡績

第282号（1916年2月）
滿洲に於ける主要棉糸布【関東都督府調査】
支那棉花栽培面積
南支那の綿糸布
昨年の上海綿糸布貿易

第283号（1916年3月）
滿洲輸入綿糸及土産布
米国の支那棉製品貿易
香港輸入日本綿糸【領事報告】
齊齊哈爾輸入本邦綿糸布
天津に於ける紡織公司新設
上海支那棉水気検査所手数料引上
漢口第一紡織公司工事

第284号（1916年4月）
上海に於ける綿糸布貿易
沙市地方棉花取引
漢口綿糸布状況
漢口紡績機業会社の設立

第285号（1916年5月）
上海綿糸市場
支那紡績及織布業
天津の棉花

第287号（1916年7月）
支那の紡績業
福州綿糸綿布市況
河南省に於ける棉業試験場

第288号（1916年8月）
大正四年の上海綿物輸入貿易
上海綿糸市場
天津に於ける本邦綿糸布状況
天津地方棉花作柄
遼陽に於ける綿糸綿製品
汕頭本邦製綿製品需要状況

第289号（1916年9月）
香港に於ける本邦製綿品販路の実況
上海に於ける印度・支那綿糸
大正四年の天津貿易
長春に於ける七月中の綿糸布商況
福州に於ける綿布綿糸

第290号（1916年10月）
支那に於ける生地物綿布に就て
漢口棉花輸出近況
漢口市場の近況と本邦綿糸布
沙市輸入綿糸概況
上海附近棉花作柄

第291号（1916年11月）
濟南に於ける棉花市況
直隸省の織布業
上海綿糸市場

第293号（1917年1月）
香港に於ける莫大小業
錦州に於ける本邦綿物需要状況

第294号（1917年2月）
大連並に朝鮮に於ける紡績企業に関する陳情
支那紡績業視察【和田豊次】
四たび支那関税改正に就いて【馬場義興】
哈爾濱に於ける織物類綿糸・棉花輸出入額
營口の綿糸布貿易
奉天及上海に於ける綿糸綿布輸出入額
湖北に於ける支那棉花展覧会

第295号（1917年3月）
支那関税改修反対請願
上海輸入綿織物の消長
我産業發展と支那関税問題【武藤山治】
支那の登録税法案
支那紡績營業成績及近況
香港綿糸事情

第296号（1917年4月）
支那関税改修問題に対する臨時總會
第卅回定期總會及第二回支那関税改修問題に対する臨時總會
支那関税引上反対関西聯合大会
香港綿糸貿易
支那紡績の増錘及新設
上海の移出附加税免除の申請
大阪商業会議所の支那関税改訂に関する意見開申書
大阪メリヤス同業組合の支那関税引上反対陳情書
大阪工業会の支那関税引上反対意見書
阿波染色同業組合の支那関税建議書

第297号（1917年5月）
支那関税改修問題に対する第三回臨時總會
支那関税引上反対意見書
閣僚の支那関税引上問題觀を評す【谷口房藏】
支那関税引上反対演説会
戦後に於ける独逸と支那との經濟關係（上）【ウオルフ・フォン・デワル】
雲南省の綿製品状況
支那棉花事情
支那関税現実五分計算【支那財政部】
東京実業組合聯合会支那関税引上反対決議

第298号（1917年6月）
民間政治家の支那関税引上問題觀を評す【谷口房藏】
支那関税引上反対演説会
戦後に於ける独逸と支那との經濟關係（下）【ウオルフ・フォン・デワル】
昨年下半年上海輸入棉織物状況
武昌棉業試験場
農安に於ける綿布状況

第299号（1917年7月）
支那関税引上反対関西聯合大会記事
支那に於ける諸政策【領事報告】
汕頭に於ける本邦綿製手拭類需要状況
漢口棉製品貿易
綿ポプリン需給状況

第300号（1917年8月）
張家口に於ける落地税賦課に関する調査
上海輸入織物の北支再輸出

天津綿製品貿易	武昌に於ける農商部棉花展覽会
支那各地の本邦製浴巾	
九江に於ける綿糸布	第306号（1918年2月）
第301号（1917年9月）	支那に於ける手織綿布の免税
支那関税引上反対関西聯合大会記事	支那直隸省の綿紡織業
支那の紡績企業論	沙市地方棉花取引
汕頭に於ける綿糸需給	山東省の綿織物業
天津地方棉花作柄	第307号（1918年3月）
天津地方水害後の棉作予想	最近の支那紡績〔臨時産業調査局・吉岡〕
漢口第一紡織会社	昨年の上海織物輸入状況
綿莫大小製品需給状況	上海日支綿布商組合
新民府綿糸需給	
第302号（1917年10月）	第308号（1918年4月）
支那の棉花栽培	支那関税改修に関する請願
昨年中の支那貿易（上）	漢口を中心としての綿糸布〔臨時産業調査局・吉岡〕
上海に於ける本年上半期の綿糸状況	支那棉輸出高
支那に於ける米棉移植	
四川省の綿糸綿布	第309号（1918年5月）
上海支那棉花水気排除会總會	支那工場製品免税特典
第303号（1917年11月）	第310号（1918年6月）
汕頭に於ける綿製品取引慣習	日支経済関係と支那幣制の改革〔小林 丑三郎〕
香港莫大小製品需要状況	原料問題解決策〔馬場義興〕
広東綿製品貿易	支那棉の害虫
杭州に於ける綿織物業	
満洲輸入綿布	第311号（1918年7月）
南満洲に於ける機業	香港綿糸貿易
第304号（1917年12月）	天津綿製品貿易
昨年中の支那貿易（下）	
支那紡績機械輸入	第312号（1918年8月）
第305号（1918年1月）	陝西省に於ける棉花釐金増徴〔領事報告〕
支那棉花の産額に就て	

安東に於ける尺布課税価格に就て〔領事報告〕	上海に於ける棉花綿糸布
楚興公司事業拡張〔領事報告〕	本邦綿製品製造包装改善事項
第313号（1918年9月）	第319号（1919年3月）
東洋に於ける日本の金融上の地位〔井上準之助〕	上海棉花・綿糸布商況
上海附近棉花作柄予想	上海綿糸業者営業成績
漢口綿糸布需給状況	牛莊に於ける綿糸商況
新民府に於ける綿布需給状況	遼陽附近の棉作
第314号（1918年10月）	第320号（1919年4月）
芝罘に於ける本邦製綿縫糸販路	上海棉花綿糸布商況（三月）
支那各地棉花作柄	大連綿糸布商聯合会設立
香港市場綿糸荷動地方別推算	第321号（1919年5月）
土布免税	支那関税改訂〔内田康哉〕
第315号（1918年11月）	支那棉花栽培に関する上海支那人紡績聯合会建議案
湖北省棉花収穫予想	第322号（1919年6月）
南支那昨年度織物貿易	支那昨年度綿製品貿易
第316号（1918年12月）	香港に於ける綿糸布貿易
汕頭に於ける日英綿布〔領事報告〕	芝罘輸入本邦綿糸布
支那の米棉試植	本邦棉糸布の荷造に就て〔領事報告〕
土布尺量規定	第323号（1919年7月）
台湾紡績株式会社創立	濟南地方綿糸布需給状況
第317号（1919年1月）	中華実業紡紗設立計画
支那紡績工場の脱線的有様に就て〔森山弘助〕	第324号（1919年8月）
漢口棉花商况	漢口綿糸綿布需給の変遷
武昌に於ける棉花展覽会	沙市に於ける綿布市況
第318号（1919年2月）	第325号（1919年9月）
我対滿綿糸布貿易策に対する外人の批評に就て〔TH生〕	中支棉花収穫予想
	九江綿糸紡績工廠設立計画〔領事報告〕
	安東に於ける支那製綿布の輸出税並沿

岸貿易税 [領事報告] 浦塩地方綿布類需給状況 上海棉花綿糸商況 日支連絡起点問題	第333号 (1920年 5月) 支那に於ける紡績業の勃興 [領事報告] 香港に於ける綿糸布 上海棉花綿糸布商況
第326号 (1919年10月) 支那紡績聯合会総会 支那紡績の発展 浙江省棉花収獲状況 漢口棉花近況 武昌の紡織業	第334号 (1920年 6月) 上海附近棉花産出高 五月中上海棉花綿糸布商況 通洲棉花事情 鉄嶺市場に於ける綿糸布状況 天津綿糸布貿易ノ現況 新民府地方に於ける綿糸布
第327号 (1919年11月) 支那の綿織物類 三線連絡綿糸布特定運賃変更に関する 陳情書 [奉天商業会議所]	第335号 (1920年 7月) 支那棉花産額 香港綿糸棉花商況 上海棉花綿糸布商況
第328号 (1919年12月) 昨年中の支那貿易 上海綿糸布状況 赤峰に於ける綿布綿糸並綿製品の需給	第336号 (1920年 8月) 漢口に於ける綿布 一九一九年度支那綿糸布貿易 広東地方本邦綿糸布 上海に於ける綿布商況 [領事報告] 奉天に於ける織布業状況
第329号 (1920年 1月) 満洲に於ける各国綿糸布及綿製品	第337号 (1920年 9月) 宜昌地方の棉花
第330号 (1920年 2月) 武昌に於ける紡績業近況	第338号 (1920年10月) 天津綿織物 上海棉花市況 沙市地方棉花作柄
第331号 (1920年 3月) 支那紡織業の現状 昨年の上海織物状況 上海に於ける棉花綿糸布 漢口第一紡織開業	第339号 (1920年11月) 上海に於ける綿布解約問題 上海附近の棉花作柄予想
第332号 (1920年 4月) 山東省に於ける植棉施設近況	

第340号 (1920年12月) 吉林地方綿布	第350号 (1921年10月) 最近支那紡績業の現状 沙市地方に於ける棉花の収獲
第341号 (1921年 1月) 上海織物市場 九江に於ける紡績設立計画	第351号 (1921年11月) 雲南棉花綿糸布状況 支那綿糸商標一覽表
第342号 (1921年 2月) 上海棉花綿糸 上海向莫大小製品 天津地方に於ける莫大小 奉天及杭州に於ける本邦製莫大小	第352号 (1921年12月) 綿糸布の漢口 [北村彦三郎]
第343号 (1921年 3月) 香港に於ける綿布 吉林に於ける綿布状況 長春に於ける綿織物	第353号 (1922年 1月) 綿糸布の漢口 (下) [北村彦三郎] 昨年中上海綿布綿糸概況
第344号 (1921年 4月) 牛莊地方に於ける綿織物	第354号 (1922年 2月) 天津に於ける紡績業の現状
第345号 (1921年 5月) 上海棉花綿糸布状況	第355号 (1922年 3月) 最近の支那紡績業 湖南省棉花産出状況 北滿陸境輸出入貨物に対する特惠税率 及特別税特典廃止 奉天に於ける建値問題と綿糸布取引
第346号 (1921年 6月) 宜昌に於ける綿織物状況 江蘇省に於ける棉業公会設立の奨励	第356号 (1922年 4月) 華盛頓会議に於ける支那関稅条約 支那の紡績業並綿糸輸出入額 上海綿糸布市況
第347号 (1921年 7月) 長春に於ける綿織物状況 上海棉花綿糸布市況	第357号 (1922年 5月) 鉄嶺に於ける綿糸布取引状況
第349号 (1921年 9月) 支那関稅率改訂延期請願 一九二〇年支那貿易 上海棉花綿糸布市況	第358号 (1922年 6月) 支那棉花産額

第359号（1922年7月）
上海棉花綿糸布商況

第360号（1922年8月）
支那棉花産出高
上海綿糸布商況

第361号（1922年9月）
支那に於ける紡績及織布業の大勢
上海綿糸布商況

第362号（1922年10月）
大正十年支那外国貿易
芝罘に於ける綿糸布の趨勢

第363号（1922年11月）
支那関税改訂の経過
支那商標登録局上海分処設置
支那に於ける紡績工業
上海棉花綿糸布市況
上海に於ける本邦製綿繻子状況

第364号（1922年12月）
英国の対支紡機輸出高
昨年度上海貿易概況
新民府に於ける綿糸布状況
支那改訂輸入税率表

第365号（1923年1月）
支那棉花輸出禁止に就て〔商務官報告〕
支那産機械製品消費税と綿糸布〔領事報告〕
天津に於ける紡績業〔領事報告〕
雲南地方に於ける綿糸布状況

第366号（1923年2月）
支那棉花輸出禁止問題に対する批判
〔商務官報告〕
支那市場に於ける本邦綿製品
沙市に於ける棉花状況
漢口地方綿布
漢口紡織会社創立〔領事報告〕
北滿に於ける加工綿布状況

第367号（1923年3月）
英国綿布の売込方法〔商務官報告〕
銀塊取引状況
昨年中の上海綿布綿製品概況
牛莊に於ける綿布並莫大小

第368号（1923年4月）
支那市場に於ける本邦加工綿布
支那に於けるネル及綿木綿の需要
支那に於ける本邦小倉織類
支那紡績救済策
中華綿業銀行定款
天津紡績工場設立制限令
滿洲に於ける紡績工業〔大阪市役所囑託員報告〕

第369号（1923年5月）
上海綿糸布市況
滿洲向商標意匠〔領事報告〕

第370号（1923年6月）
日貨排斥に関する陳情
天津に於ける紡績
支那の綿製品輸入貿易
支那新商標法の公布
支那商標法施行細則
支那商標局暫行章程

支那工場法仮通則公布〔商務官報告〕
上海に於ける日貨排斥影響〔商務官報告〕

第371号（1923年7月）
上海棉花綿糸布商況
武漢地方の紡績工業
対支輸出生地棉布及紅天竺
天津棉花状況
支那各地に於ける排日情況〔漢口商業会議所〕

第372号（1923年8月）
日貨排斥に就て〔商務官報告〕
支那の紡績業状況
天津棉花状況
輸出綿布量日付改正問題〔商務官報告〕

第373号（1923年9月）
上海華商紗廠聯合会の震災見舞電報
支那対外貿易状況
震災と上海綿糸布市況

第374号（1923年10月）
支那工場製品特別課税〔領事報告〕
震災と上海綿糸市況
漢口の中入用棉花
滿洲紡績設立経過〔領事報告〕

第375号（1923年11月）
漢口に於ける排日觀〔商務官報告〕
支那の紡績業
上海に於ける紅天竺通関量目
上海棉花綿糸商況

第376号（1923年12月）
支那棉生産状況
天津に於ける棉花取引紛争
支那の織機需要の将来

第377号（1924年1月）
上海に於ける英国製綿布競売法〔領事報告〕
沙市棉花状況
北支那棉花受渡問題

第378号（1924年2月）
支那棉花輸出税附加税問題
漢口綿製品輸入状況
濟南褐色棉花状況
支那商標登録出願追加手續期限延長

第379号（1924年3月）
漢口に於ける綿糸
奉天紡紗廠近況

第380号（1924年4月）
芝罘綿糸布状況
支那商標法優先登録延長

第381号（1924年5月）
支那に於ける綿朱子
上海邦人綿布同業会組織〔領事報告〕
漢口棉花の現状

第382号（1924年6月）
奉天綿糸布状況
支那側の棉花栽培奨励

第383号（1924年7月）
宜昌に於ける日英支綿織物状況

支那新疆省に於ける棉花
 満洲棉花栽培奨励
 支那紡績近況
 第384号(1924年8月)
 支那棉業の消長
 支那棉花作柄予想
 上海に於ける本邦白金取引状況
 支那商標登録期間延長
 支那商標局組織条例公布
 青島綿糸現物取引及延取引規程
 第385号(1924年9月)
 綿糸紡績業の趨勢[岸武八]
 上海に於ける染色工業
 支那棉花収穫予想
 上海英商議対支那棉業者綿絨品標準契約
 第386号(1924年10月)
 昨年の支那貿易
 上海に於ける英国綿布輸入状況と本邦品の将来
 本年度支那棉産予想
 支那時局と上海綿糸棉花市場
 上海外人紡績聯合会総会
 山東棉状況
 天津新棉出廻状況
 第387号(1924年11月)
 武漢紡織現況
 遼陽附近棉花生産及取引状況
 鉄嶺綿糸布市況
 華商紗布交易所の棉花受渡検査規則
 第388号(1924年12月)
 支那紡績業の近況
 支那に於ける日英綿布状況
 漢口綿糸布貿易状況
 鉄嶺に於ける綿糸布商習慣改善運動
 漢口棉花仲買規約の改正
 第389号(1925年1月)
 支那紡績業の現状と其将来[山崎長吉]
 漢口綿糸界の現況
 天津棉花取引商慣習
 第390号(1925年2月)
 支那国際貿易の沿革
 上海綿糸布綿製品輸入数量
 雲南省綿糸輸入状況
 奉天紡紗廠現況[領事報告]
 長春綿糸布市況
 支那商標法登録優先期間延長[商務官報告]
 漢口輸入本邦綿布ノ通関
 上海紡績罷業事件[矢田総領事電報]
 在支紡績関係者決議
 第391年(1925年3月)
 満洲の支那側機業
 第392号(1925年4月)
 支那棉業界に於ける日本人の勢力[加藤副領事訊]
 支那に於ける日英綿布
 支那染色の外国綿布子口税単発給期限延長[領事報告]
 濟南綿糸布輸入状況
 遼陽及附近棉花生産及取引状況
 山東省に於ける棉業

第393号(1925年5月)
 農安織布業近況
 支那綿製品需給状況
 支那の婦人労働者
 満洲棉花栽培状況
 在支日本紡績同業会委員会
 第394号(1925年6月)
 対支貿易の趨勢
 上海騒擾事件[上海日本商業会議所]
 武漢の罷工事件[漢口日本商業会議所]
 天津紡績業近況
 天津裕大紡東拓経営
 在支日本紡績同業会創立総会
 第395号(1925年7月)
 支那商標法優先登録期間延期
 支那商標局取扱に就て
 上海内外綿罷工事情附青島紡績工場罷工[内外綿会社]
 支那関税問題[商務官報告]
 濟南棉花圧搾工場現況
 上海騒擾事件[上海日本商業会議所]
 武漢の罷工事件[漢口日本商業会議所]
 第396号(1925年8月)
 上海邦人紡績工場の一部を瓜哇に移すの説[中島清一郎]
 鄭州棉花集散状況
 鄭州棉綵及運輸状況
 上海騒擾事件[上海日本商業会議所]
 武漢罷工事件[漢口日本商業会議所]
 支那工会条例草案
 在支日本紡績同業会総会
 第397号(1925年9月)
 本邦紡績の対支関係[神坂静太郎]
 上海豊田紡織廠騒擾事件附五卅事件影響事情[豊田紡織廠]
 上海揚印棉臨時本邦揚に変更
 第398号(1925年10月)
 支那関税特別会議に対する当会意見陳情
 昨年の支那貿易
 上海加工綿布需要状況
 支那関税特別会議に対する在華日本紡績同業会陳情
 支那関税會議に庄司氏の渡支
 第399号(1925年11月)
 最近の支那貿易に就て[山本弥太郎]
 支那関税増徴と綿布輸入
 上海紡績工賃及生活状況[商務書記官報告]
 本年度支那棉花収穫予想
 第400号(1925年12月)
 支那罷工の特殊事情[商務官報告]
 青島紡績業現況[領事報告]
 印棉運華聯益会創設
 漢口日本人綿糸布同業会の契約書様式
 第401号(1926年1月)
 支那輸入綿製品統計
 支那商標法優先登録期間延期[芳沢公使電報]
 漢口綿糸布同業会契約書様式一部改正
 第402号(1926年2月)
 日・支・印三国紡績業の關係[S. M. 生]

支那に於ける綿布捺染加工 [商務書記
官報告]
鄭州棉花市況

第403号 (1926年 3月)

支那関税改正と日本の商工業 [乾精末]
武漢棉花取引発達情況
在支那邦人経営紡績会社鍾数

第404号 (1926年 4月)

支那関税問題に就て
支那棉再移出税免除
満洲奉票暴落綿糸布市況

第405号 (1926年 5月)

支那棉作
在華日本紡績同業会総会

第406号 (1926年 6月)

武漢に於ける紡績業
天津に於ける本邦綿糸逆輸原因に就て
中華民国訪日実業団歓迎会

第407号 (1926年 7月)

遼陽附近綿工業状況 [領事報告]
支那商標法優先登録期限延長 [公使報
告]

第408号 (1926年 8月)

在支那邦人経営紡績会社鍾数

第410号 (1926年10月)

青島市場に於ける本邦綿糸布の地位並
に取引慣習

第413号 (1927年 1月)
支那関税附加税に関する陳述書
漢口上海地方の形勢と在支紡績業
支那関税附加税問題

第414号 (1927年 2月)

上海地方形勢と在支本邦紡績業
在支邦人経営紡績会社鍾数
上海輸移出綿糸布数量
青島綿製品輸入状況 [領事報告]

第415号 (1927年 3月)

上海綿布市況 (大正十年～十四年)
[商務書記官報告]

第416号 (1927年 4月)

上海の状勢と同地本邦紡績業

第417号 (1927年 5月)

在華日本紡績同業会総会

第418号 (1927年 6月)

支那紡績業の推移と本邦紡績業の将来
[商務書記官報告]

第419号 (1927年 7月)

支那関税増徴問題に関する当会陳情書
南京政府の不当課税問題

第420号 (1927年 8月)

南京政府不当課税に関する陳情書
対支商権擁護聯盟記事

第421号 (1927年 9月)

対支輸出加工綿布 [商務書記官報告]

第422号 (1927年10月)
棉花土布の輸出解禁 (漢口)

第423号 (1927年11月)

関東州租借地及遼陽に於て我紡績業者
の受けつつある不利益
青島所在邦人紡績工場操業短縮
天津棉花の対米輸出激増
在支邦人紡績会社製品別商標

第424号 (1927年12月)

支那紡績業者の見たる印度紡績業の不
振と其弱点

第425号 (1928年 1月)

英国綿業集中生産主義提唱其対支貿易
刷新論 [商務参事官報告]

第426号 (1928年 2月)

天津英国商の日本綿布取扱開始
奉天票暴落と支那綿糸布商

第427号 (1928年 3月)

天津及満洲に於ける大尺布の需給状況
綿糸布の南満輸入と南満三港の比較的
地位 [領事報告]
在支邦人経営紡績会社鍾数

第428号 (1928年 4月)

奉天支那側綿織物業の現況 [領事報告]
在華日本紡績同業会第三回定時総会

第429号 (1928年 5月)

対支問題協議会

第431号 (1928年 7月)

支那に於ける棉花綿糸及綿布輸出入状
況 [商務参事官報告]

第434号 (1928年10月)

支那の平和と日支紡績事業 [SM生]

第435号 (1928年11月)

支那紡績業に関する統計報告

第436号 (1928年12月)

四川省軍憲の棉花栽培奨励 [領事報告]

第437号 (1929年 1月)

支那改定輸入関税々率表

第439号 (1929年 3月)

英国綿布の対支進出
鮮満陸境関税特典撤廃問題に関する満
州邦商の運動

第440号 (1929年 4月)

在華日本紡績同業会第四回定時総会

第441号 (1929年 5月)

国民政府の商標再登録問題
上海に於ける加工綿布工場

第442号 (1929年 6月)

英国対支綿布輸出激減

第445号 (1929年 9月)

在支紡績業に就て [ピアース]
露支向商標の選択に就て

第446号（1929年10月） 哈爾濱に於ける綿帆布	第468号（1931年8月） インドのヤング・インディヤ紙の英・日・華綿布競争観 [総領事電報]
第447号（1929年11月） 漢口新棉作柄 青島紡績罷業の顛末	第470号（1931年10月） 上海邦人紡績と時局関係 [商務参事官報告]
第449号（1930年1月） 漢口綿糸布需給状況 [領事報告]	第472号（1931年12月） 上海綿布取引状況並封存日貨問題 [商務参事官電報]
第450号（1930年2月） 支那工場労働者の賃銀と其生活費 [領事報告]	第476号（1932年4月） 滿蒙視察雜感 [堀文平]
第453号（1930年5月） 日支関税協定付属協定税率品目明細表 [外務省通商局] 哈爾濱織布工業と綿糸布輸入状況 湖北植棉事業改良計画	第479号（1932年7月） 英国品の近年支那市場進出状況 [商務参事官報告]
第456号（1930年8月） 最近三ヶ年間に英支綿糸布及其他綿製品印度輸入の趨勢	第480号（1932年8月） 中華民國の領事送状制度実施と駐外領事館領事送状発給規則 在支紡績に就て
第460号（1930年12月） 膠濟鉄道貨物運賃差別的取扱に関する陳情書	第481号（1932年9月） 上海綿業情報 [商務参事官報告] 支那の滿洲国税関封鎖と上海市場 [商務参事官電報]
第461号（1931年1月） 中華民國新輸入税率に就て [外務省通商局]	上海々関領事送状規則改正告示 [総領事電報] 滿洲国関税通商改正声明
第463号（1931年3月） 上海対日綿糸輸出状況 [商務参事官電報]	第482号（1932年10月） 支那輸入貨物領事査証制度補充辦法公布 [領事電報]

第483号（1932年11月） 本年度支那棉産額及作柄並綿糸布商況 [商務参事官電報]	第490号（1933年6月） 支那棉産出及取引状況 [総領事報告] 武漢紡績操業状況 [総領事報告] 日滿棉花栽培協會設立懇話会
第484号（1932年12月） 支那棉花産額第一回予想 [商務参事官報告] 滿洲輸入日支兩國製品需要状況 [領事報告] 武漢各紡績工場の現況 英国の対支綿製品輸出近況	第491号（1933年7月） 天津日本人綿糸布組約款改正 滿洲国関税率改訂
第485号（1933年1月） 在支在滿邦人紡績鍾数	第492号（1933年8月） 本年度第一回支那棉花予想 山東棉花作柄詳報 支那棉業近況 [商務参事官報告] 在支在滿邦人紡績鍾数
第486号（1933年2月） 支那工廠法及施行条例の改正 支那棉收穫予想 [商務参事官報告] 支那輸入貨物原産国標記条例 滿洲国对外贸易概況	第493号（1933年9月） 本年度江蘇省棉花産額 本年度湖北省棉花作柄
第487号（1933年3月） 一九三二年支那綿業概況	第494号（1933年10月） 支那棉統制委員会成立 [特命全權公使電報] 山東棉收穫予想 [総領事報告]
第488号（1933年4月） 支那人紡績操短 [商務参事官電報]	第495号（1933年11月） 支那棉第二次作柄予想 [総領事報告] 支那棉統制委員会設立 [商務参事官報告] 鄭州中心棉花産出及出廻状況 [総領事報告]
第489号（1933年5月） 支那関税に関する陳情書 支那関税率改正実施 支那紡績界の傾向 [総領事報告] 上海に於ける紡績状況 [商務参事官電報] 滿洲税関徴収建値国幣に改正	第496号（1934年1月） 杭州地方の棉花作柄其他 [領事報告] 武漢地方紡績

第497号（1934年2月）
満洲綿糸布市場最近概況
張店及周村棉花出廻状況

第498号（1934年3月）
武漢綿糸布取引状況〔総領事報告〕
支那棉花に関する水気挾雑物取締条例
並に施行細則の件〔商務参事官報告〕
八月中上海棉花及綿糸布貿易統計〔商務参事官報告〕

第500号（1934年5月）
湖南省の綿糸管理
第507号（1934年12月）
満洲国実業部大臣歓迎会
満洲国赴日商工視察団歓迎会
満洲国新輸入関税

第501号（1934年6月）
広東綿織廠工事進捗〔総領事報告〕
第508号（1935年1月）
満洲に於ける棉花作況等に関する資料

第502号（1934年7月）
支那の紡績業
支那棉花収獲状況
武漢紡績工場〔漢口商業会議所〕
支那の関税改正
第509号（1935年2月）
昭和九年度に於ける満洲棉花作柄概況
熱河の棉作〔榎本中衛〕
漢口棉花出廻状況〔総領事報告〕
安東に於ける昭和八年度綿糸布輸入数量〔領事報告〕

第503号（1934年8月）
支那工業奨励法
青島紡績工業
第510号（1935年3月）
支那各地棉花並綿糸布貿易並市況〔商務参事官報告〕

第504号（1934年9月）
支那中央棉産改良所組織〔領事報告〕
済南に支那人紡績工場新設〔総領事報告〕
上海及其附近の支那人経営工場数及投資額〔商務参事官報告〕
上海綿糸布貿易統計〔商務参事官報告〕
支那棉の水気雑物取締条例
第512号（1935年5月）
山東棉花の水分雑物混入取締に関し報告の件

第505号（1934年10月）
山東省の紡績業と同生産品の需給状態〔総領事報告〕
山東棉花の増産並品質改良計画〔副領事報告〕
第514号（1935年7月）
支那に於ける棉花に関する研究(1)〔村山高〕
華商紡績の危機〔商務参事官報告〕
満洲の棉花栽培状況〔総領事報告〕

第515号（1935年9月）
支那に於ける棉花に関する研究(2)〔村山高〕
康徳元年満洲棉花作付面積及収獲高表
並に本年度作柄概況
高低相場表

第516号（1935年10月）
支那に於ける棉花に関する研究(3)〔村山高〕
第517号（1935年11月）
訪日中華民国經濟視察団招待晩餐会
今季全支棉産予想
支那に於ける棉花に関する研究(4)〔村山高〕

第519号（1936年1月）
北支經濟事情〔講演〕
第524号（1936年6月）
昨年における中国紡績業
支那棉業統制委員会の棉産区救済方法

第527号（1936年9月）
支那棉水気検査規則改正
第528号（1936年10月）
康徳三年満洲国棉花作付推定面積及収量予想表

第530号（1936年12月）
康徳三年満洲国に於ける棉花作付面積及予想収量
第532号（1937年2月）
〔中華民国〕一九三六年度棉花綿糸最

第533号（1937年3月）
支那市場を繞る各国綿業の角逐(1)〔村山高〕
訪支經濟使節
在華日本紡績同業会天津支部設置

第534号（1937年4月）
訪支所感〔庄司乙吉〕
支那市場を繞る各国綿業の角逐(2)〔村山高〕
中日貿易協會総会及訪支実業団記事
満洲国綿業の概況〔満洲国実業部産業調査局〕
支那最近の經濟諸統計
最近十ヶ年の支那貿易額と関税収入

第535号（1937年5月）
支那市場を繞る各国綿業の角逐(3)〔村山高〕
華北に於ける日本紡績の陣容

第536号（1937年6月）
綿糸統税改正率実施〔総領事報告〕
支那棉作付予想並外支棉買付状況〔商務書記官電報〕

第537号（1937年7月）
北支事変に会して
小寺源吾氏日英提携強調
支那經濟の動向——昨年度跳躍の後を辿る〔曹勵恒〕
本年支那新棉の作付並出廻
北支棉花作柄報告

第538号（1937年8月）
最近の支那紡織事情 [華商紗廠聯合会]
北支事変以来の上海綿糸・棉花・為替
市況
南滿棉花作付反別
日本紡績の滿洲進出計画

第539号（1937年9月）
在青島紡績閉鎖事情
滿洲国の莫大小工業
支那紡績工場一覽表
五月中滿洲国織物輸入
支那棉收穫予想
在華日本紡績被害概況

第540号（1937年10月）
支那紡績事業の前途 [馬寅初]
中国紡織工場改革案 [童澗文]
滿洲に於ける棉作分布図
滿洲国及朝鮮に於ける棉作面積・繰綿
産額並反当斤収量（表）
滿洲国に於ける棉奨励品種増殖二十ヶ
年計画案と五ヶ年計画案との比較
（表）
滿洲棉花の増産収買期間改組
滿洲棉花收穫減収分

第541号（1937年11月）
北支棉花の現況 [佐藤洋之介]
北支工作と日支綿業関係の編成替(上)
[大橋逸三]
北支情勢片々
北支棉花公司設立要綱案
河北棉花大減収
上海支那紡績操業状態 [領事報告]
滿洲綿業聯合会創立

[滿洲国] 八月中の織物輸入高
第542号（1937年12月）
北支工作と日支綿業関係の編成替(中)
[大橋逸三]
北支の資源と之れが開発に就て [池田
純久]
北支棉花に関する統計
北支棉輸入二十五万担
北支棉花出廻状況
上海工場復旧状況

第543号（1938年1月）
在華紡の近況と其将来 [飯尾一二]
天津邦人紡操業継続
滿洲国関税法制定
中国臨時政府新関税
[滿洲] 九月中織物輸入高
河北省棉花の生産出廻事情
上海西部七華商紡工場操業
北支棉花買付に邦商進出
中華民國関税改正に関する件陳情

第544号（1938年2月）
北支棉花の概況
北支工作と日支綿業関係の編成替(下
の1) [大橋逸三]
昨年度滿洲棉花収買成績
滿洲棉花会社の設備拡充
(支那) 棉花出廻・輸移出状況並市況
邦人紡績再開に活気づく
在天津各社紡績工場操業状況
山西省工場経営我資本家に委任

第545号（1938年3月）
台湾に於ける棉作の将来（上）

在青島邦人紡績復興第一期計画決定
進出
康德四年滿洲国（関東州）棉花作付面
積及收穫高
北支棉花公司設立決定
滿洲紡績操短
滿洲国・関東州で綿布価格統制
滿洲棉業統制根本方針決定
棉花統制料徴収
德州の中国銀行開店
中国聯銀閉業

第546号（1938年4月）
河南省の棉作
台湾に於ける棉作の将来（下）
中支支那紡經營受託割当決定
滿洲国・関東州為替管理強化
全滿洲国各地に操綿包装工場新設
天津棉花出廻数量
紡績の北支進出と其統制計画
中国棉業全滅の危機：漢口大公報の所
論
支那事変と英支貿易に関するマンチェ
スター商議所の報告
支棉減産と米棉輸出減

第547号（1938年5月）
支那労働賃金の程度に就て(1)
鮮滿支棉花統計
支那海関接収問題解決す
上海海関の接収について
拓務省の支那棉花開発計画
滿洲紡績五月より操短実施
滿洲国棉花公司改組
天津棉花出廻状況
山東棉花三、四割植付減
高関税に阻まれるス・フ混織品の北支

第548号（1938年6月）
北支棉花雜感 [笹岡茂七]
支那労働賃金の程度に就て(2)
支那新政府の関税改正
楊樹浦申新紡第六上海紡に委託経営
中支の棉花需給情勢
西南各地に支那側紡績建設計画
天津滯貨山積

第549号（1938年7月）
支那労働賃金の程度に就て(3)
対支両会社概要
支那向綿製品品目決定
滿洲紡績の棉花輸入計画
滿洲棉聯北支棉を無為替輸入
滿洲国棉人織混織糸輸入税率
北支棉花收穫高
北支棉昂騰
天津棉花状況
滯貨処分の応急策決定
済南の綿糸布取引状況
北支の貿易管理

第550号（1938年8月）
綿業統制に於ける戰時的要請と資本金
的合則性 [名和統一]
北支に於ける棉作の概要
北支棉收穫減少見込
天津棉花出廻量
天津商品市況
天津布団綿相場
天津取引所問題
青島取引所綿糸相場
北支紡績自給案

青島紡績復興状況
 第551号（1938年9月）
 支那労働賃金の程度に就て(4)
 天津棉花出廻状況
 北支棉花需給予想
 河北棉第二回収穫予想
 天津棉花綿糸布
 北支棉買付統制と割当制度実施方針
 建設資材獲得に北支棉花対策考究
 北支対第三国の輸出入リンク制
 上海邦人経営紡績工場操業現況
 第552号（1938年10月）
 天津機械染色工廠概況
 北支貿易リンク制愈々実施
 北支棉十年計画成る
 河北棉買付困難カ
 天津棉花出廻状況
 天津棉花綿糸布市況
 上海に新綿業取引所創立
 南支作戦と米支経済関係
 第553号（1938年11月）
 日滿支綿業共同統制機関の創設
 支那労働賃金の程度に就て(5)
 濟南山東棉花出廻数量
 天津棉花出廻情況
 天津綿糸布・棉花商況
 上海綿糸布・棉花商況
 上海綿業取引所愈々設立
 第554号（1938年12月）
 日滿支経済懇談会
 西南支那の経済的潜在力[上崎孝之助]
 北支棉花の輸出に許可制実施

北支棉花買付代行機関設立
 北支棉花の対滿割当
 青島紡績の復興情況
 青島棉花出廻状況
 天津棉花出廻状況
 上海綿糸市況
 天津雜棉組合創立
 第555号（1939年1月）
 時局下在華日本紡の使命
 日支事変と支那紡織業(1) [村山高]
 浙江省の棉花統制
 昨年度支那綿糸市況
 昨年度上海支那棉市況
 膠済沿線棉花・綿糸布商況
 第556号（1939年2月）
 遊休設備の大陸移転
 日支事変と支那紡織業(2) [村山高]
 天津市に於ける華人工場の概況
 在支紡績の原棉対策
 北支棉統制機関結成
 北支棉地域別割当
 北支棉花増産計画
 華北棉産改進会設立
 中支棉増産計画
 滿洲バルブ増産案
 第557号（1939年3月）
 日支事変と支那紡織業(3) [村山高]
 大陸綿業再建と興亜院
 在華邦人紡操業状況
 華北棉花改進会内容
 北支棉統制聯絡委員会決定事項
 北支棉配給統制機関
 臨時政府春耕資金貸付

維新政府棉花増産計画
 第558号（1939年4月）
 支那、特に北支の棉花問題 [名和統一]
 滿洲国綿業統制諸法令
 滿洲綿業統制法大意
 北支棉花協會開業
 全滿織布規格統一
 滿洲国ス・フ強制混用
 公立価格を設定
 第559号（1939年5月）
 滿洲国に於ける綿業統制の發展（上）
 [高橋性]
 訪日北支経済視察団歓迎会
 在華日本紡績同業会會員生産設備一覽表
 天津英仏租界へ綿糸布不売
 北支棉花の公定価格
 滿支の棉花増産計画
 全滿紡績操短実施
 滿洲国でもス・フ混紡
 華興商業銀行創立
 在華紡委員長更迭
 第560号（1939年6月）
 滿洲国に於ける綿業統制の發展（中）
 [高橋性]
 北支棉植附状況
 第561号（1939年7月）
 滿洲国に於ける綿業統制の發展（下）
 [高橋性]
 青島紡績第二次の復興計画
 華中棉産改進会創立
 支那輪移出為替通関に関する海關布告

と手続
 第562号（1939年8月）
 北支棉の統制改革
 第563号（1939年9月）
 上海海關の華興券建実施
 上海地方新棉收穫予想激減
 第564号（1939年10月）
 北支棉花買付価格決定
 存華紡外棉を買付け
 棉買資金前渡
 第565号（1939年11月）
 上海紡績業とその労働事情(1) [名和統一訳]
 新棉減収と中支紡績の棉花手当
 維新政府海關監督の通達
 中支棉一部で自由買付制採用
 第566号（1939年12月）
 事変処理と我産業再編成の理論 [藤田敬三]
 北支棉花政策の転換
 東亞経済懇談会第三分科会摘録
 （滿洲国）貿易統制強化
 滿洲国綿製品規画統一
 滿洲綿業対策決る
 北支棉対日供給飽迄確保に決定
 第567号（1940年1月）
 河北省石家莊附近の水と棉作 [村上捨巳]
 上海紡績業とその労働事情(2) [名和統一訳]

北支棉最終収穫予想 [多谷泰三]
 上海最終棉花収穫予想 上海紡績業とその労働事情(5) [名和統一訳]
 第568号 (1940年2月) 東亜綿業の確立と棉花増産対策 [今村興亜院の新企業許可方針 篤次郎]
 第569号 (1940年3月) 滿洲綿業更に操短
 新北支綿糸布統制機構 北支棉価格大幅引上
 在滿紡績操業危機 上海紡の操短必至
 上海綿布加工工場七割休業 第573号 (1940年7月)
 中支方面進出企業に対する我大蔵当局の許可方針 上海紡績業とその労働事情(6) [名和統一訳]
 第570号 (1940年4月) 逆転した上海綿業界
 上海紡績業とその労働事情(3) [名和統一訳] 北支紡の外棉輸入一定範囲内で許可
 北支綿業統制機構成る 北支粗毛棉花も買付, 配給を統制
 軍管理工場返還 北支棉増産期待
 上海綿業の交易所創立 第574号 (1940年8月)
 第571号 (1940年5月) 最近の支那紡績業に就て(2) [名和統一]
 支那に於ける手工的綿紡織問題 [敵中平]
 支那の新局面と東亜綿業対策 [白石幸三郎] 事変以来全支那紡績の回顧と展望(3) [多谷泰三]
 事変以来全支那紡績の回顧と展望(1) [多谷泰三] 二十九年度第一次北支棉産予想概況
 上海紡績業とその労働事情(4) [名和統一訳] 中支棉作柄
 民国二十九年度華北棉産改進黨事業計画 滿洲国全面的貿易管理へ
 滿洲国の綿業二次対策 棉花麻類の統制会社設立
 在滿紡原棉手当愈よ困難 輸入配給組合結成, 共同機構を完整
 綿糸布狂騰抑制先物取引を禁止 濠支貿易為替協定成立
 第572号 (1940年6月) 對滿閩支貿易調整
 最近の支那紡績業に就て(1) [名和統一] 在滿紡滯荷難
 事変以来全支那紡績の回顧と展望(2) 滿洲側北支棉割当追加要求

在華紡操短を拡張カ 第581号 (1941年3月)
 絹織業とその労働事情 [名和統一訳]
 支那の羊毛資源 [本会企画部調査]
 第576号 (1940年10月) 上海綿業界の不振
 支那の棉花 [田中義英] 滿洲国北支綿不買
 滿閩綿聯改組 滿洲国羊毛増産十ヶ年計画
 滿洲人絹ス・フ統制
 中支棉の對滿割当決定 第582号 (1941年4月)
 十, 十一月の北支向綿布輸出数量決定 上海為替
 上海在華紡五割操短 海外綿糸布市況
 滿洲国對日貿易管理要綱 世界貿易概況
 第577号 (1940年11月) 第583号 (1941年5月)
 上海莫大小業とその労働事情 [名和統一訳] 滿洲輕工業の發展過程に関する覚書 [酒井和夫]
 事変以来全支那紡績の回顧と展望(5) [多谷泰三] 四月中の在華紡原棉手当増加, 華人紡の密搬入物手当旺盛
 上海紡印棉買付著増 上海棉花輸入状況
 上海綿業界近況 上海絹糸布市況
 第578号 (1940年12月) 第584号 (1941年6月)
 東亜綿業協議会第二回定時協議会記事 円ブロック輸出に就き再検討を要す
 蔣政権下に於ける綿業界近況 支那棉花問題座談会
 北支棉花買付資金融通を当局考慮 蘭印, 對支貿易促進要望
 華北外棉輸入制実施 上海織維市況
 中支棉花協會改組拡充 天津織維市況
 上海棉取の綿布上場準備進捗 上海對外貿易概況
 第579号 (1941年1月) 第585号 (1941年7月)
 国策としての支那棉花増産問題 支那の棉花輸入激減, 一九四一年度第一四半期
 製糸業とその労働事情 [名和統一訳] 全支對外貿易概況
 華中棉花協會創立
 第580号 (1941年2月) 第586号 (1941年8月)
 上海綿取綿布上場決定 東亜の現状と我綿業 [白石幸三郎]
 北支向け輸出商品の新協定価格に当局方針を明示 支那棉花を繞る諸問題

英米の日支資産凍結令の対上海市場影響

華北貿易円決済に変更
重慶の対米輸出額
全支対外貿易概況

第587号（1941年9月）

北支棉花増産事業を阻害する諸条件
〔多谷泰三〕

本年度棉花買付昨年度の三倍に上らん
上海繊維類週報

支那生糸五千俵仕育に到着

天津繊維週報

天津、青島、香港、上海〔貿易概況・
商品市況〕

第588号（1941年10月）

京漢線棉花搬出禁止

北支棉の資金貸出高昨年の二倍に達す
棉麻の棉花操作進捗代替繊維として有望

華北に棉業会結成、各統制機関を統合

華北棉花生産増大

西河棉に規格検査実施

山東棉花搬出税整理

山東棉花輸出に集団自動車輸送計画

華北棉花收穫予想前年比十一割増

棉花買付人を厳選、華北当局の方針

濟南〔棉花市況〕

英米資産凍結の影響、八月中外棉輸入
七割減

中支棉四割方減収、天候回復でやや持
直す

上海〔棉花市況〕

上海繊維類週報

買溜の綿糸在荷変質

上海綿糸布相場暴落

濟南の繊維品出廻状況

華北繊維組合機構案再検討要望さる

国府綿糸布の輸出に許可制実施カ

上海綿糸相場暴落に思惑筋の破産者続
出

上海海關綿糸布輸出許可制布告

天津繊維類週報

第589号（1941年11月）

中国棉花増産事業は一業界の事業では
ない

北支棉花増産機関と増産現況(1)〔多谷
泰三〕

中支棉買付価格二割方引上げカ

上海棉取現状を継続、総解合は行はず

上海棉取最高値に総解合

上海棉取八日迄続休、環境波瀾に慎重

上海棉取再開八十日頃か、理事会で万
全策協議

華北棉の増産目標作付面積五割を拡張

濟南〔棉花市況〕

天津〔棉花市況〕

滿洲の新棉五割弱の増収

棉製品輸出許可制は禁止に等しと国府
闡明

上海綿糸在庫高減少

国府、綿糸布の占領地向移出制限を解
除

上海人絹連日昂騰

上海綿糸暴騰事情

天津繊維類週報

濟南、青島〔綿糸布市況〕

第590号（1941年12月）

支那棉花増産事業の緊急性〔白石幸三

郎〕

北支棉花増産機関と増産現況(2)〔多谷
泰三〕

東亜共栄圏綿業自給体制の確立——基
礎統計に就て〔本会企画部〕

濟南棉花市況

華北棉の出廻り好調

魯南地区に棉花栽培

価格差調整が重点、支那棉輸入の現地
交渉

上海紡績原棉手当高

滿洲棉花へ普銀団融資制度を拡張

華中棉産改進黨明年度事業計画決定

華北棉花の買付停頓

在滿紡明年五割操業

石門地区棉花出廻増

新棉花収買所の成績、棉花出廻良好

中支へ棉花視察団

上海繊維類週報

天津繊維類週報

濟南、青島〔綿糸布市況〕

上海紡績生産状況、綿難に生産高漸減

在華紡の操短拡大、華人紡も追随せん

上海紡織増資に内定

上海綿糸布又復大暴騰、輸出解禁説と
法幣不安原で

上海の紡績生産状況

香港綿糸輸出禁止、軍需要にストック
カ

綿麻買入委託者決定〔滿洲〕

東洋人織安東工場落成

第591号（1942年1月）

東亜共栄圏繊維工業の重点形成方策に
就て〔関桂三〕

北支棉花増産機関と増産現況(3)〔多谷

泰三〕

上海棉取再開準備完了、組合員会で日
取決定

中支棉買付一時中止

上海棉取十九日より再開、特別証換金
を引上げ

上海棉取総解合

原棉手当難から上海外華人紡困窮

租界内華商棉花手持三十万俵

足止めになった北支棉花一時的保管方
法決定

濟南〔棉花市況〕

租界内産業資本我が方に協力、中支紡
績界の更生近し

外華人紡績工場も四割五分に操短

敵系工場に会計監督官を派遣、紡績関
係工場九日より操業停止

紡績の製品及び棉花手持、今後三ヶ年
の需要に対応

濟南、青島〔綿糸布市況〕

華北繊維協会設立、繊維品配給機構整
備

麻蚕払込徴収近し

棉花、洋麻出廻旺盛

滿洲国綿規格単純化

滿洲の繊維統制進展、織聯主体に一元
統合

滿洲綿布業者販売価格決定

第592号（1942年2月）

大東亜共栄圏棉花資源開発の構想〔柴
田捷三〕

北支棉花増産機関と増産現況(4)〔多谷
泰三〕

北支棉花協会改組完了

棉花買上価格決定、十九日より買上再

開
華北棉作拋棄論華北当局問題にせず
山東棉増産方策決定
華北纖維海州出張所廿九日から事業開始
支那棉花増産に邁進、華中棉産新事業計画
反当り増収を主眼に華北棉増産計画推進
華北四省棉花收穫高三百三万支担
魯西棉花出廻り順調、早魁から魯北は不良
石門棉花出廻り好調
棉花特約栽培制実施、京漢沿線の十四県に
北中支の物動責任完了、棉花・工業塩計画量確保
北支棉花協会新陣容決定
濟南〔棉花市況〕
綿糸布商内完全に停止
南方輸出に統制機関、上海綿業関係者会議
三角地帯華人紡操業、邦人紡との調整の要
天津經濟週報
濟南、青島〔綿糸布市況〕

第593号（1942年3月）

大東亜綿業の具体的構想
北支棉花増産機関と増産現況(5)〔多谷泰三〕
原料問題座談会
濟南〔棉花市況〕
北支棉産三県を特別地域に指定
華北棉三月度買付価格は二百円
満洲国内の棉花増産

満洲棉・麻増産方針
華人紡の一元的統制機関として中国紗廠聯合会近く結成
国府の綿糸統制収入六割減
上海市紗布同業聯合会成立
北支の紡績工場等軍管理解除に決定
天津、濟南〔綿糸布市況〕

第594号（1942年4月）

京漢線地区棉花出廻激増事——事变以後最高記録を示現
青島紡績界漸次明朗化——山東棉の出廻り増加で
中支棉買付価格——四割の大幅引上げ
山東地区棉花作付増加——本年度の増産は確實か
在華紡上海支部常任委員決定
三月中の上海工人生活費指数急騰
中支棉の出廻り活発化、前週の買付七万担に達す
満洲棉花増産策二次決定——現在の倍額確保を目標
委託敵産企業経営に在華紡同業会管理部設置
上海、天津、濟南〔市況〕

第595号（1942年5月）

“中支棉花の増産は益々必要” 現に華紡上海支部理事談
中支棉花の播種状況、昨年度より播種面積増加
中支綿業再編成問題進捗
華北の棉花買上価格は据置
北支の棉田推广、目標二百万畝
上海商品週報、綿糸布類に思惑筋活動
皇軍戦捷を好感、綿糸布類一斉高

綿糸布のみ高値示現“天津經濟週報”
綿糸布のみ強調、金融不安に一般低調
綿糸布以外は概ね低調
濟南〔市況〕

第596号（1942年6月）

支那棉花増産に関する問題〔金次博〕
北支に於ける綿業統制の動向(1)〔野町克利〕
台湾雜纖維に関する調査〔松崎数恵・有田圓二〕
濟南、上海、天津〔市況〕
綿糸布昂騰対策成る、華北纖維協会天津支部で決定
大東亜共栄圈内纖維資源確保のための棉花増産会議開催
山西省の棉花最高価格発表、規格標準二十日より実施
綿糸布昂騰対策に組員間取引禁止
綿糸布間相場消滅
国府棉花増産会議終了、十二提案を可決

第597号（1942年7月）

北支に於ける綿業統制の動向(2)〔野町克利〕
台湾棉作に関する調査〔松崎数恵・有田圓二〕
天津、上海、濟南〔市況〕
今年度華北棉花三割増収か
端午節決済も穏健に過ぎ綿糸布市況概ね閑散
端午節を週央に挟み天津綿糸布市場平穩
広東綿糸及相場伸悩み
濟南の綿糸布相場急落

青島綿布等最高価格決定
物価抑制策実施の噂に上海綿糸布相場騰勢頭打ち
全週を通じ変化なく保合——天津綿糸布市場
天津綿糸布市況平靜
上海綿糸布の昂騰目立つ
北京地区の棉花・綿製品適正価格最後の決定
天津綿糸布市場——総じて強調を持續
上海棉花綿糸布市場——概して閑散

第598号（1942年8月）

大東亜共栄圏建設過程における本邦綿業貿易の構想〔中共省二〕
京漢線棉作地を廻りて〔野町克利〕
台湾に於ける纖維工業の現状〔松崎数恵・有田圓二〕
華北棉は結局四割増収か、出廻りは百万担の増加
華北土産綿糸布配給一元化、協会綿糸布部組合配給開始
南満地区特用作物の概況、棉花以外ハ平年作以上
天津、濟南、上海〔市況〕
海南島の纖維資源ハ豊富——池田海南政務総監談
中北支棉の輸入手当成立
物価抑制策懸念に閑散落着きに推移——上海商品週報
纖維品適正価格発表も検討の域を出ず閑散——天津商品週報
支那棉の病害調査に大原農校西門博士渡支
北京輸入布製品の適正価格算出法決定

蒙疆輸入綿布に指定価格
 収買組合の活動開始で天津の綿布相場
 場低落
 八月一日現在中支棉相場
 思惑投機完封に積極策動きなし——上
 海商品週報
 満洲国繊維綜合統制進捗——一本建統
 制機関満洲繊維管理公社設立か
 中支棉二・三割の増産期待、各地とも
 作柄極めて良好
 陸地棉は在来種より努力が必要、田代
 勞工協会調査課長談
 上海商品週報——閑散相場は軟調

第599号（1942年9月）
 大東亜共栄圏建設過程に於ける棉花及
 び綿業対策 [川口佐市]
 七月末現在華北棉作状況、各地とも作
 柄概ね順調
 海州アルカリ地帯を開発、棉花の栽培
 有望
 中支棉実出廻り増加せん、棉花収買価
 格との調整を要望
 上海、天津、濟南 [市況]
 広東省営紡績を復旧、民族資本による
 産業復興
 青島綿布相場低落、購買組合の配給
 に在荷増大
 中支棉の増収愈々確実、概して穏健な
 足取り——上海商品週報
 本年度華北棉の増収状況——繰綿四百
 万担の予想
 当局の対策眺めに閑散——上海商品週
 報
 麵粉の急落目立つ——天津商品週報
 中支棉花買付価格据置

物価対策を好感せるも、棉花・綿糸布
 市況未だ不透明
 上海綿糸布市場大引気配
 棉花は平年作を予想され品質も極めて
 良好——上海商品週報
 仲秋節を控へ綿糸布相場閑散
 物価対策着々実施、棉取現物市場再開
 か——上海経済週報

第600号（1942年10月）
 満洲紡績業と棉花 [酒井和夫]
 満洲における繊維の総合的一貫作業化
 を企図——東洋紡種田社長視察談
 天津、濟南、上海 [市況]
 華中棉花統制会誕生——日華同業者を
 網羅
 三四年後には北支棉一万ピクル生産可
 能、華北実業督辦王氏談
 各商品軒並み閑散歩合——天津商品週
 報
 仲秋節控へに市況概して平凡——上海
 商品週報
 冀東地区の棉産増産——昨年比一割五
 分増
 仲秋節平穩に越季——天津商品週報
 取引材料なく凡調に推移——上海商品
 週報
 上海棉花管理辦事処店開き
 仲秋節平穩越期せるも新規材料薄に平
 凡推移——上海商品週報
 人絹糸布適正価格発表、他は公定価格
 一本に釘付——天津商品週報
 大勢に変化なくも綿糸布軟調、其他眩
 り——天津経済週報
 棉花統制機構整備
 材料薄に積極性乏しく小浮動——上海

商品週報
 江南地区一元的収買機関として華人側
 棉業公司設立進捗
 統一的計算により棉花を一元的収買
 ——江北棉花収買会創立の意義
 [附] 朝鮮、満洲紡績会社沿革史略図

【東亜繊維工業】

第1号（1942年12月）
 華人紡績の一性格——生産費に於ける
 問題 [西藤雅夫]
 大東亜戦争下の人絹業の使命 [富山亘]
 大東亜蚕業の現勢と統制経済の新動向
 [木谷勝郎]
 双馬取引禁止に警戒人氣濃化——上海
 商品週報
 天津綿糸布・人絹週報
 綿糸布最高価格設定、中支卸売物価対
 策に着手
 加工綿布等の最高価格近く全部決定の
 運び
 国府綿糸布統税率改正——固定課税法
 を廃止
 北支の棉花近年稀な増収

[附記] 本稿は、平成3～5年度文部省科学研究費補助金（特別研究員
 奨励費）の交付を受けた成果の一部である。

札蘭屯亜麻加工工場竣工
 中支綿糸布配給統制
 海州棉増産第二年度計画
 積極性乏しく閑散、棉花の出廻り好調
 ——上海商品週報
 綿糸布の思惑活発——天津商品週報
 綿糸布、人絹等強調——天津商品週報
 華北棉は結局一割増収か
 龍江省線麻の増産をみる
 強弱材料の輻輳に積極味乏しく小浮動
 ——上海商品週報

第2号（1943年1月）
 支那紡績労働の低生産性——その規定
 諸要因の分析 [岡部利良]
 東亜蚕糸資源と新動向 [日本蚕糸統制
 株式会社調査課]
 北支棉花増産対策考 [野町克利]
 大東亜戦争と人絹工業の現状及将来
 [古谷巖]
 商内少量ながら各商品とも強調——天
 津商品週報
 保合圏内に浮動——上海商品週報
 織布・染色部門をも移駐して一貫作業
 を図る——支那大陸よりも南方地域
 向を先ず考慮か